このたびはミニキャブをお買い上げいただき,ありがとうございます。

J09200100259

この取扱説明書は,お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また,お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので,ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠警告　記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

⚠注意　記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

アドバイス　お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備　グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

絵で見る目次 1

安全なドライブのために 2
お車を安全に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。

環境にやさしく快適なドライブのために 3

各部の開閉 4

安全装備 5

メーター・スイッチ 6

運転装置 7

室内装備 8

エアコン 9

オーディオ 10

簡単な整備・車のお手入れ 11

寒冷時の取り扱い 12

もしものときの処置 13

楽床ダンプの取り扱い 14

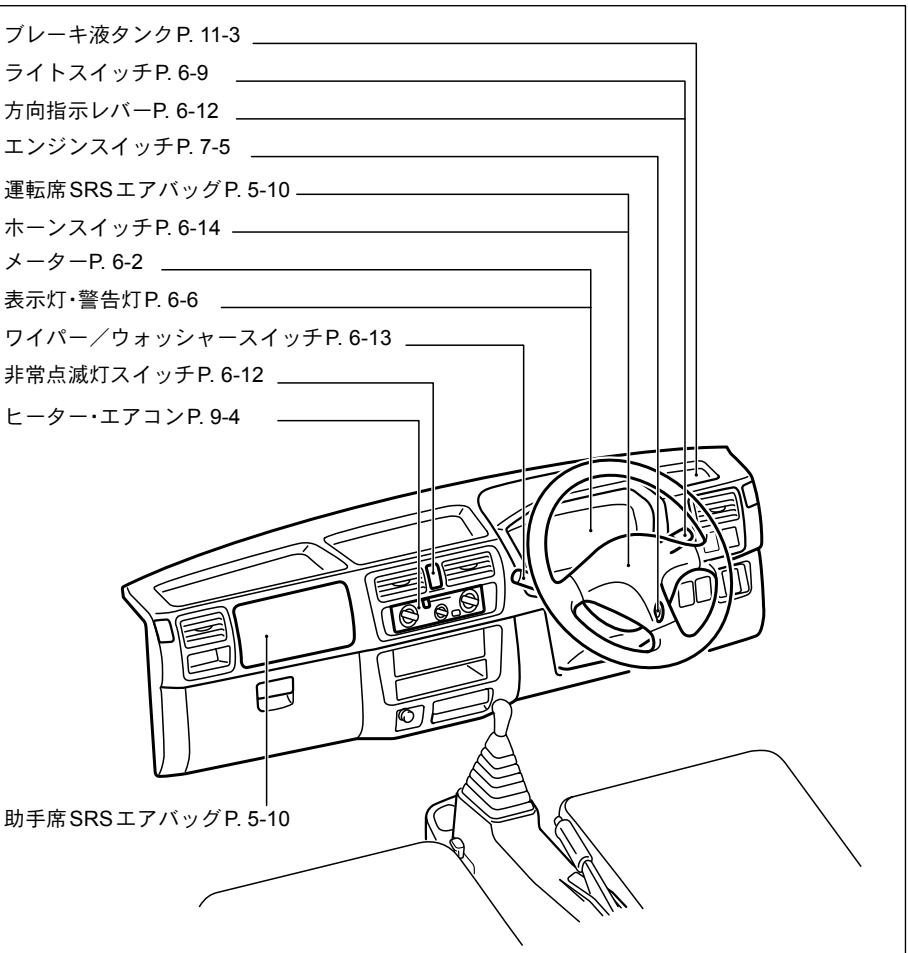
サービスデータ 15

さくいん 16

計器盤まわり

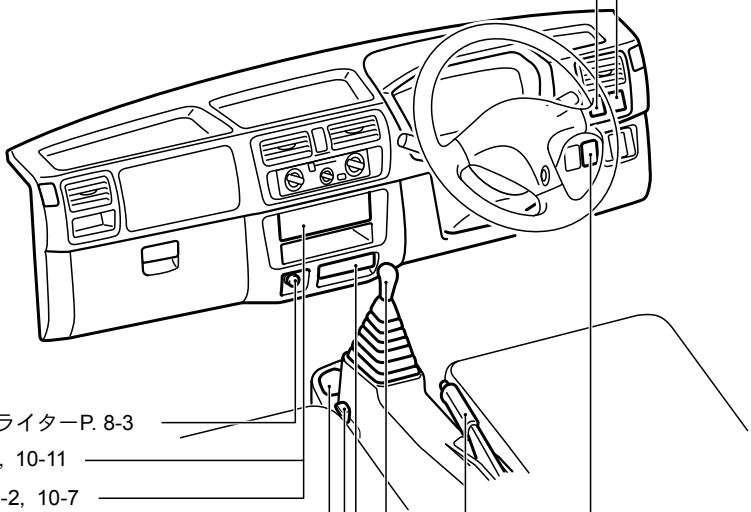
J00100100864

1



・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF002048



4WD切り換えスイッチ(4WD車)P. 7-18

ヘッドライトレベリングダイヤルP. 6-11

シガレットライターP. 8-3

時計P. 10-6, 10-11

ラジオP. 10-2, 10-7

カップホルダーP. 8-5

トランスファーシフトレバー
(4WDマニュアル車)P. 7-19

灰皿P. 8-2

シフトレバー(マニュアル車)P. 7-9

セレクターレバー(オートマチック車)P. 7-11

駐車ブレーキP. 7-2

ダンプスイッチP. 14-2

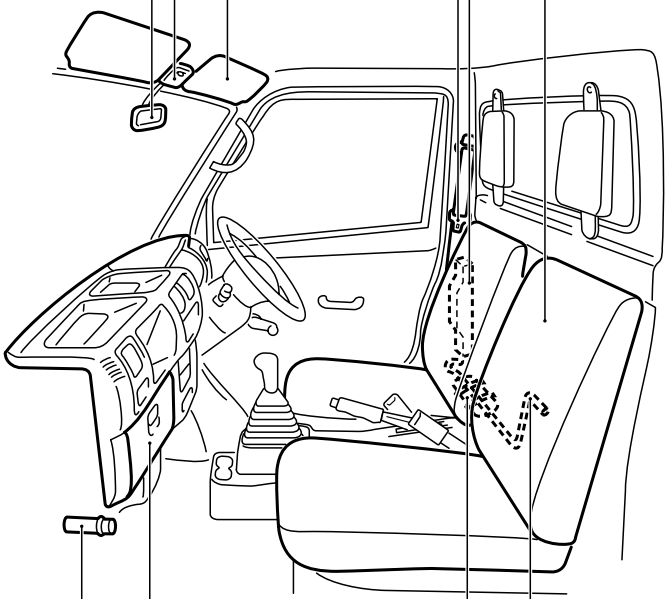
・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF002051

室内

J00100300273

1



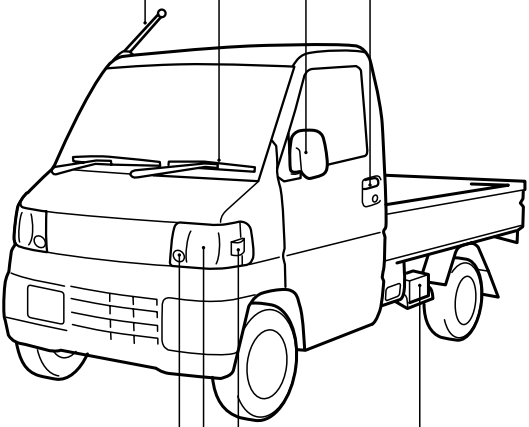
・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF000448

外まわり

J00100400997

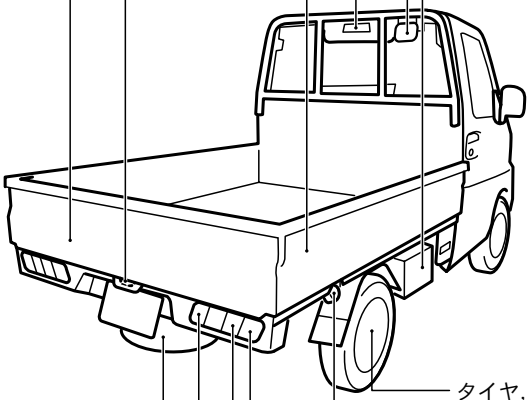
トラック



・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF003638

1

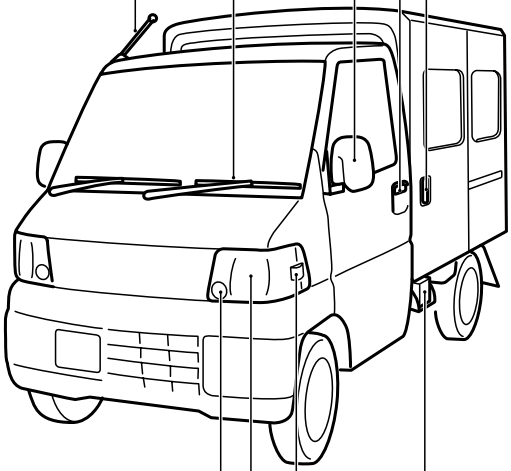


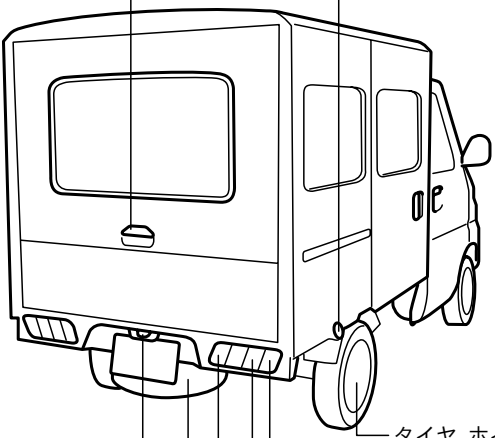
リヤゲートP. 4-6
番号灯P. 6-9, 15-6
サイドゲートP. 4-8
ハイマウントストップランプP.15-6
荷台作業灯P. 8-4
キー付きロッカーP. 4-14
タイヤ, ホイールのサイズP. 15-8
タイヤの空気圧P. 15-10
タイヤ交換P. 13-16
タイヤローテーションP. 11-4
タイヤチェーンP. 12-5
フューエルキャップP. 4-12
方向指示灯P. 6-12, 15-6
非常点滅灯P. 6-12, 15-6
制動灯／尾灯P.15-6
後退灯P.15-6
スペアタイヤP. 13-14

・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF000464

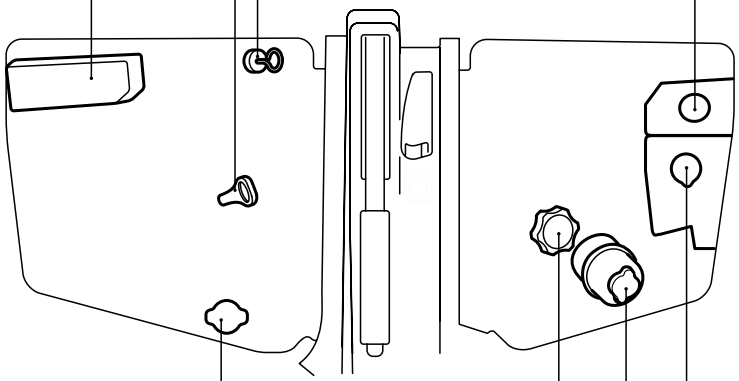
パネルバン


スライドドアP. 4-3
ドアの施錠・解錠P. 4-2
ドアミラーP. 7-3
サイドアンダーミラーP. 7-4
ワイパー・ウォッシャーP. 6-13
アンテナP. 10-12
方向指示灯P. 6-12, 15-6
非常点滅灯P. 6-12, 15-6
ヘッドライトP. 6-9, 15-6
車幅灯P. 6-9, 15-6
方向指示灯P. 6-12, 15-6
非常点滅灯P. 6-12, 15-6
バッテリーP. 13-20, 15-5
AAF003641


テールゲートP. 4-4
フューエルキャップP. 4-12
タイヤ, ホイールのサイズP. 15-8
タイヤの空気圧P. 15-10
タイヤ交換P. 13-16
タイヤローテーションP. 11-4
タイヤチェーンP. 12-5
方向指示灯P. 6-12, 15-6
非常点滅灯P. 6-12, 15-6
制動灯／尾灯P.15-6
後退灯P.15-6
スペアタイヤP. 13-14
番号灯P. 6-9, 15-6
AAF000480

エンジンルーム

J00100500611



コンデンスタンク（冷却水）P. 13-23

オートマチックトランスミッション
オイルレベルゲージ

エンジンオイルレベルゲージ

ヒューズボックスP. 13-28

ラジエーターキャップP. 13-23

エンジンオイル注入キャップ

パワーステアリングオイルタンク

ウォッシャータンクP. 11-3

・エンジンルームの点検は, シートを操作して行います。→「エンジン点検口」P. 4-10

AAF003016

MEMO

安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

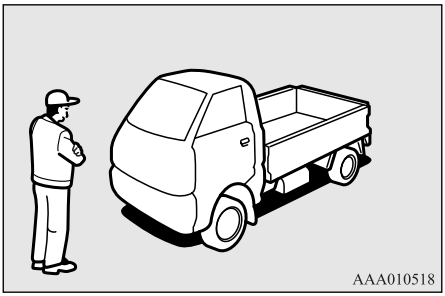
日常点検 2- 2
出発前は 2- 4
お子さまを乗せるときは 2- 6
走行するときは 2- 9
走行中に異常に気づいたら 2- 13
オートマチック車の取り扱い 2- 14
駐停車するときは 2- 17
こんなことにも注意 2- 19
セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは 2- 22

日常点検

J00200100386

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。



エンジンルームを点検するときは

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
- 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

- ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
  蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000334

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 有鉛ガソリンや粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正部品以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。
  排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ」P. 15-2

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100120

●つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200200547

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
  →「シートベルト」P. 5-3
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

窓越しにエンジンをかけない

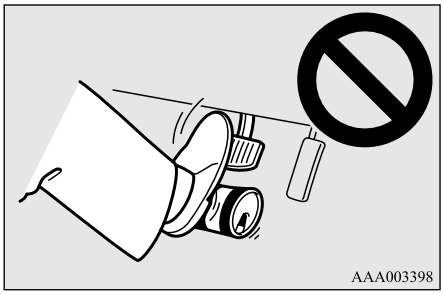
- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- マニュアル車は，シフトレバーをⓃに入れ，クラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。
  オートマチック車は，セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
  いずれの場合も思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-7
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

クラッチスタートシステムとは...

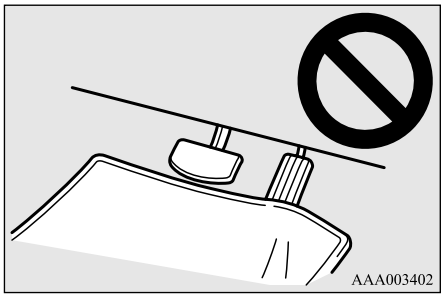
- 誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

運転席の足元付近を点検

● ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
出発前に運転席の足元付近を点検してください。



● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
また，ずれないようフックなどで確実に固定してください。
ペダルをおおったり，重ねて敷くとペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがあります。



荷物を積むときは

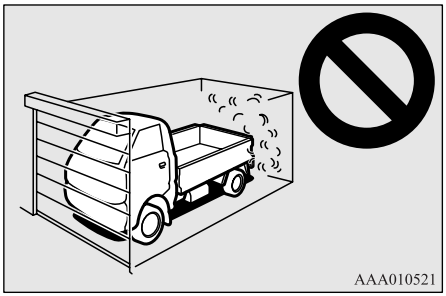
J00203000070

● 荷物は必ず指定積載重量 (350kg) までにしてください。
● 重い荷物は，できるだけ前の方に積んでください。後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
● 荷物は荷くずれしないように，しっかりと固定してください。

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

J00203200014

● 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
● やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。



お子さまを乗せるときは

J00200300753

お子さまを助手席に乗せるのは避ける

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，助手席SRSエアバッグ付き車はSRSエアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P. 5-8
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

ドア，ウインドウ，シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。

窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせない

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを体に巻きつけたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

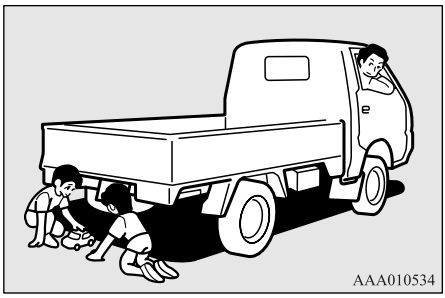
- お子さまだけを車内に残さないでください。
  炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。
- キーを差したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400086

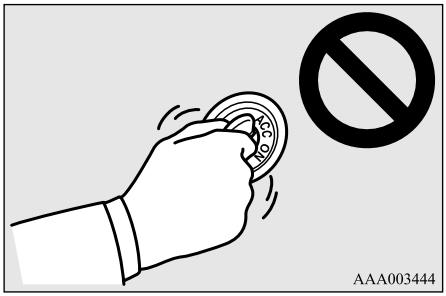
発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。



走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。



急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避ける

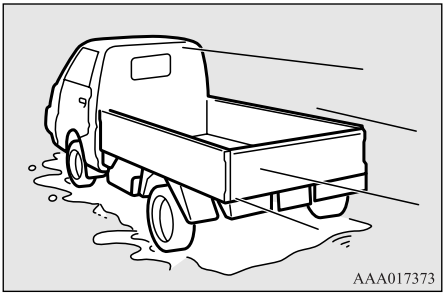
- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200349

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

●タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。



ハイドロプレーニング現象とは…

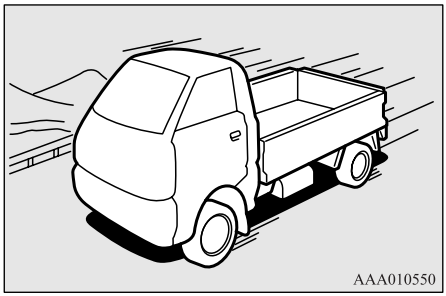
●水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300180

●ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

●長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。



エンジンブレーキとは…

●走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことです。
マニュアル車は低速ギヤほどよく効きます。
オートマチック車はセレクターレバーを❷または❶に入れてください。

ベーパロックとは…

● ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

● ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400019

● ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

クラッチペダルに足をのせたまま走行しない

J00202500023

● クラッチペダルに足をのせたまま走行したり，必要以上に長い時間半クラッチ状態を続けないでください。
クラッチが早く摩耗したり，過熱して，思わぬ事故につながるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600011

● スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
→「タイヤがスリップして発進できない」P.13-7

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700139

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

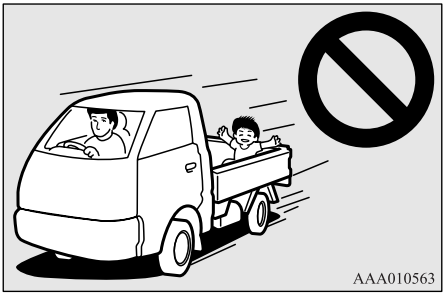
段差などを通過するときは

J00202800273

● 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路

荷台に人を乗せたまま走行しない

J00202900027



●荷台に人を乗せたまま走行しないでください。
万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行中に異常に気づいたら

J00200500553

走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの方法で車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
  通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
- 万一，スピードが落ちないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから，駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
  このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング付き車は，パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。
  通常よりハンドルを強く操作してください。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

● 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

オートマチック車の取り扱い

J00200600349

オートマチック車の特性

クリープ現象とは...

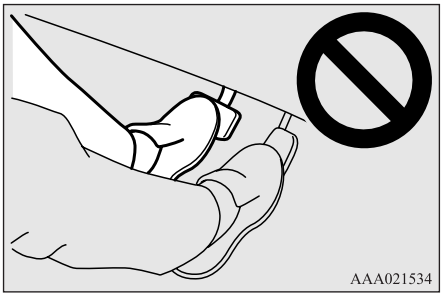
● セレクターレバーを Ⓟ, Ⓝ 以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。

キックダウンとは...

● 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，オートマチック車は自動的に低速ギヤに切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキペダルは右足で

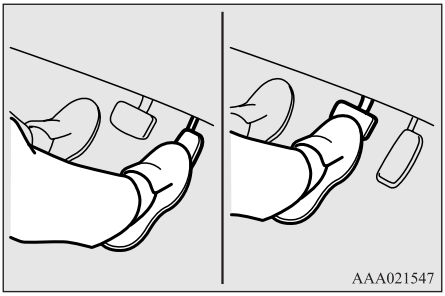
● 左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



エンジンをかける前に

J00201100165

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏みまちがいを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。



● セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

エンジンをかけるときは

J00201200036

● ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
→「エンジンのかけ方」P. 7-7

エンジン始動後

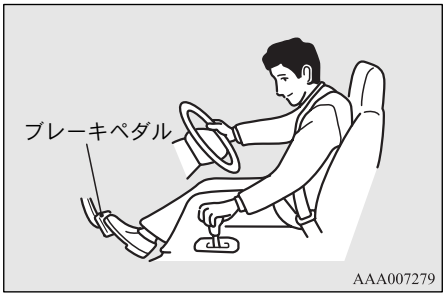
J00201300138

● エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

セレクターレバーを操作するときは

J00201400230

● ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。

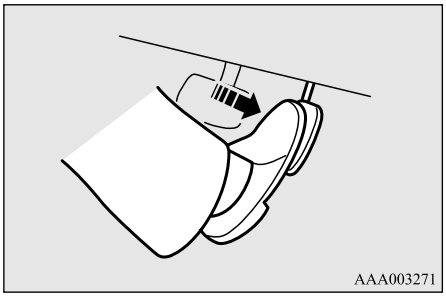


● アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。
● Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

発進するときは

J00201500039

● 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。



走行中は

J00201600320

● 走行中は，セレクターレバーをⓃに入れないでください。
エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまった場合，トランスミッションの故障の原因になります。
● 高速走行中にセレクターレバーをⓁに入れないでください。
急激なエンジンブレーキがかかり，思わぬ事故の原因になります。

停車中は

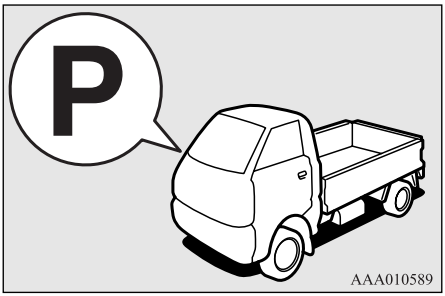
J00201700086

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
  万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800218

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。



その他に気をつけること

J00201900088

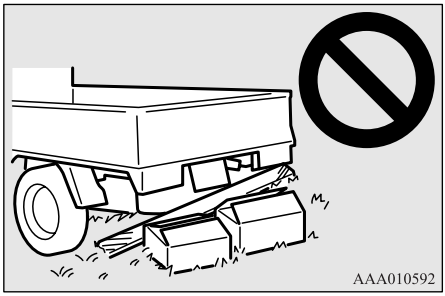
- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200700887

燃えやすいものの近くには車を止めない

●枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。



長時間のアイドリングは避ける

●長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

●車から離れるときは，必ず駐車ブレーキをかけ，エンジンを止め，キーを抜き，ドアを施錠してください。
無人で車が動き出したり，盗難のおそれがあります。
また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

●エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

●排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
●無意識にシフトレバーやセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
●無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶または㊋，オートマチック車はセレクターレバーを㊍に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
  無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

パワーステアリング付き車はハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200900863

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオなどの操作は停車してから

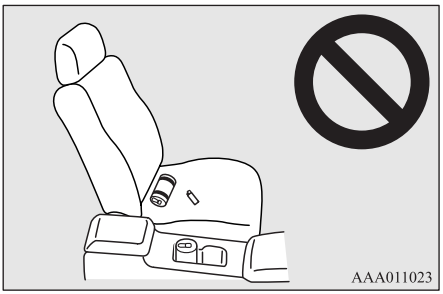
- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて，思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

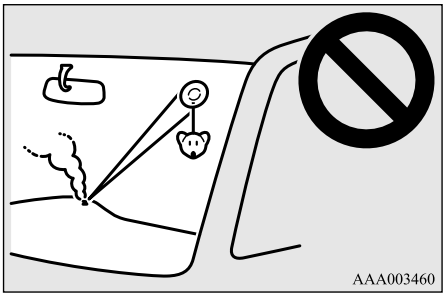


灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

●ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。



●塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

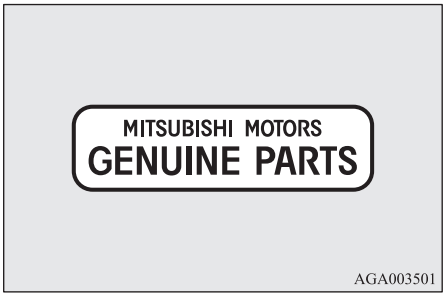
●タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
●指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
→「タイヤ, ホイールのサイズ」 P. 15-8
●ホイールは，リムサイズやオフセット量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

ジャッキアップしたままエンジンをかけない

●ジャッキアップしたままエンジンをかけると，ジャッキから車体が外れ，重大な事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

● 法律で認められている改造以外は行わないでください。
また，三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。



電装品や無線機などの注意

● 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000210

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

MEMO

MEMO

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために 3- 2
機能を上手く使うために 3- 3
環境保護のために守っていただきたいこと 3- 3

経済的な運転をするために

J00300200320

無駄な荷物を載せない

●不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

●不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

●変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

●法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

●空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

●携帯電話の使用や休憩などで長い間，車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

●タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

●エアコンは燃費に影響します。
冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

●車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
●下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
●高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300015

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400276

廃棄物を処理するときは

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと，有害なガスを発生させます。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00301600015

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

MEMO

各部の開閉

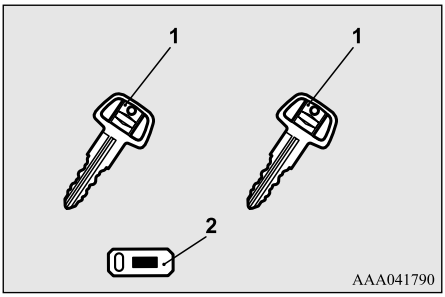
キー 4- 2
ドア 4- 2
テールゲート(パネルバン) 4- 4
リヤゲート(トラック) 4- 6
サイドゲート(トラック) 4- 8
マニュアルウインドウ 4- 10
エンジン点検口 4- 10
フューエルキャップ(燃料補給口) 4- 12
キー付きロッカー 4- 14

キー

J00400100883

アドバイス

● 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。



1: マスターキー
2: キーナンバープレート

ドア

J00400400118

⚠警告

● **車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。**
法的にも義務づけられています。
お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

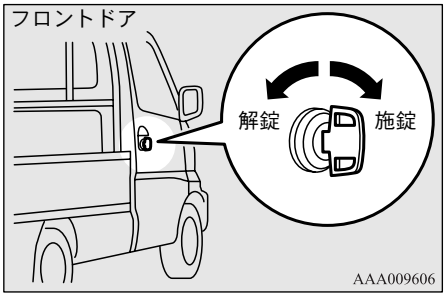
● ドアを閉めるときは，確実に閉まっていることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

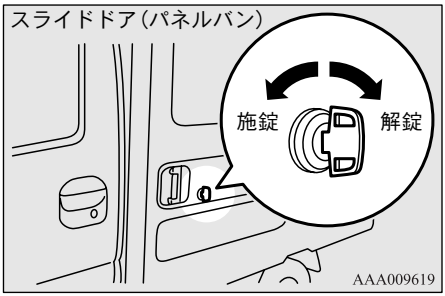
車外から施錠・解錠するときは

J00404400507

◆ キーを使って施錠・解錠するときは

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

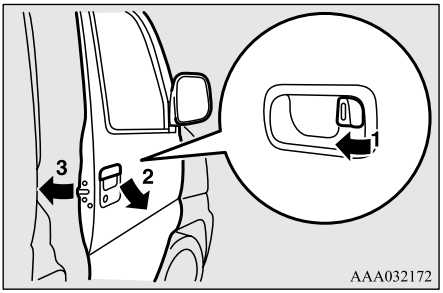




◆ キーを使わずに施錠するときは

フロントドア

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。



アドバイス

- キー抜き忘れ防止のためキーを持ってドアを閉じてください。

◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500087

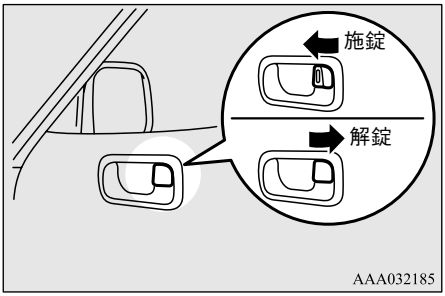
エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警報（ピピッ，ピピッ）が断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600495

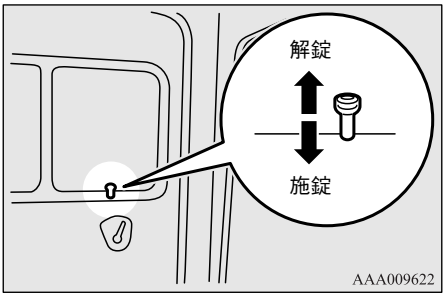
フロントドア

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



スライドドア（パネルバン）

ロックノブを押すと施錠し，引き上げると解錠します。



テールゲート（パネルバン）

J00401100718

⚠警告

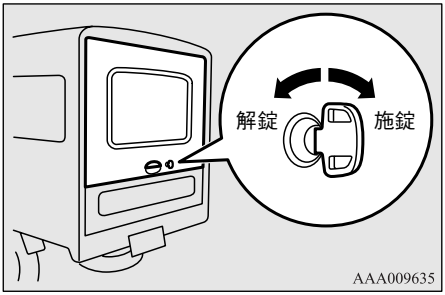
- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 道路上でテールゲートを開けて駐停車するときは，車両後方に停止表示板などを置いてください。
  テールゲートを開けたときに後続車から非常点滅灯などが確認できなくなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

⚠注意

- 荷室の荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。

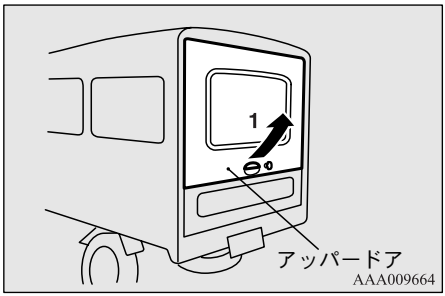
施錠・解錠するときは

キーを差し込み，右に回すと施錠，左に回すと解錠されます。

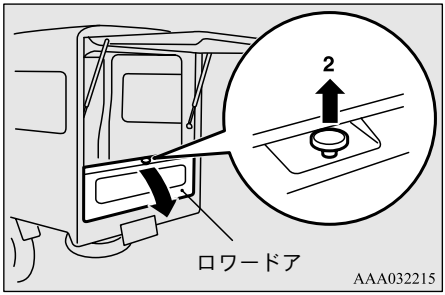


開けるときは

1. 解錠後，ハンドルを引いてアッパードアを持ち上げます。



2. ノブを引き上げ，ロワードアをゆっくり倒します。

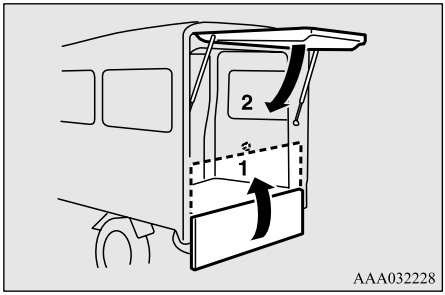


⚠注意

- テールゲートを開けるときはまわりに人がいないことを確認してください。

閉めるときは

1. ロワードアをカチッとロックするまで確実に起こします。
2. アッパードアを閉じます。



⚠注意

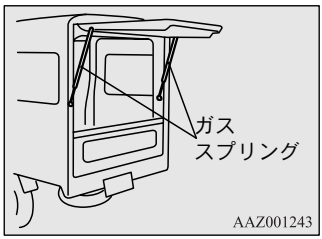
- テールゲートを閉じた後は必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 必ずロワードアを閉じてからアッパードアを閉じてください。逆にするとドア同士が当たり，ドアを損傷するおそれがあります。

アドバイス

● アッパードアを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



損傷や作動不良を防ぐため，つぎのことをお守りください。
- ガススプリングに手をかけてアッパードアを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

リヤゲート（トラック）

J00402400037

⚠警告

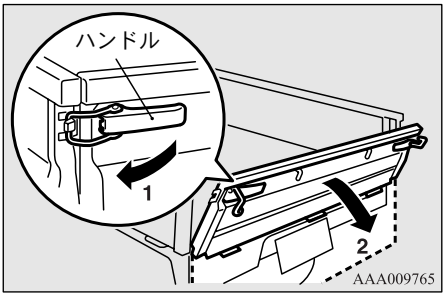
● 道路上でリヤゲートを開けて駐停車するときは，車両後方に停止表示板などを置いてください。
リヤゲートを開けたときに後続車から非常点滅灯などが確認できなくなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

● リヤゲートを倒したまま走行しないでください。
制動灯や尾灯などが後続車から確認できず，思わぬ事故につながるおそれがあります。
● 積荷を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
排気熱によりやけどをするおそれがあります。

開けるときは

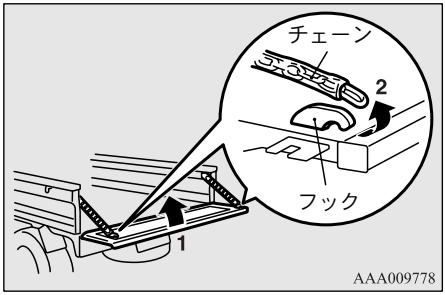
1. 左右のハンドルを手前に引いてロックを外し，
2. リヤゲートをゆっくり倒します。



チェーンの取り外し方

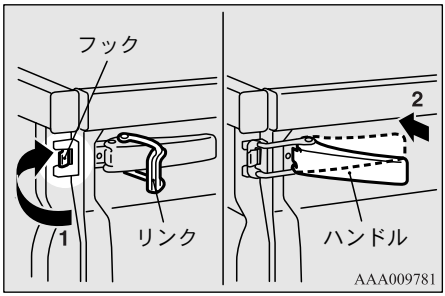
タイプ別装備

1. リヤゲートを少し持ち上げながら
2. チェーンをフックから外します。



閉めるときは

1. リヤゲートを閉じてリンクをフックにかけ,
2. ハンドルを押してロックします。



アドバイス

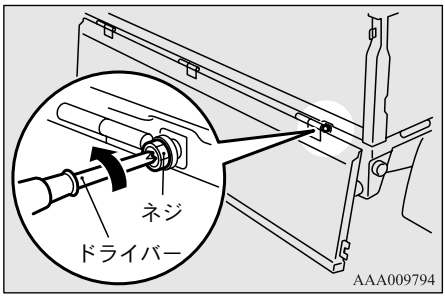
- リヤゲートには積荷の重量をかけないでください。
- リヤゲートチェーン付き車は，ゲートを閉じる前にチェーンをフックにかけてください。またゲートを閉じるとき，チェーンをはさまないように注意してください。

取り外すときは

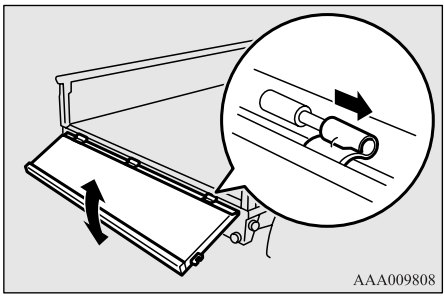
1. リヤゲートを開け，ネジを＋ドライバーなどで取り外します。

アドバイス

- ドライバーは標準装備されておりませんので市販品をお買い求めください。



2. リヤゲートを少し起こし，上下にゆらしながら右側に移動させて取り外します。



取り付けるときは

リヤゲートを取り付け，ネジを＋ドライバーなどで締め付けます。

⚠注意

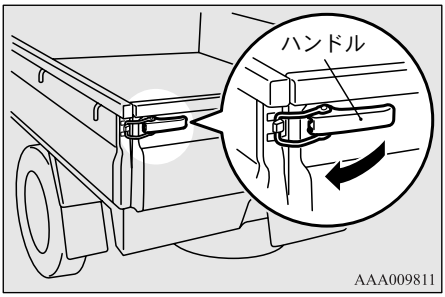
- 車体の端部などで手にけがをしないように作業を行ってください。
- けがをしないために，リヤゲートを取り外したり，取り付けたりするときは，リヤゲートを確実に持って行ってください。

サイドゲート（トラック）

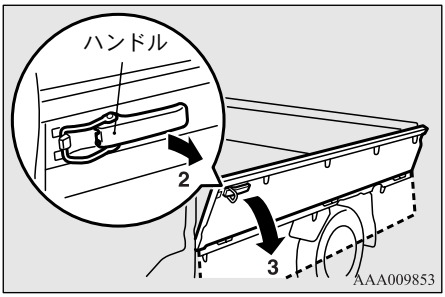
J00402500012

開けるときは

1. リヤゲートのハンドルを手前に引き，ロックを外します。



2. サイドゲート前側のハンドルを手前に引きロックを外し
3. サイドゲートをゆっくり倒します。



閉めるときは

開けるときの逆手順で行います。

アドバイス

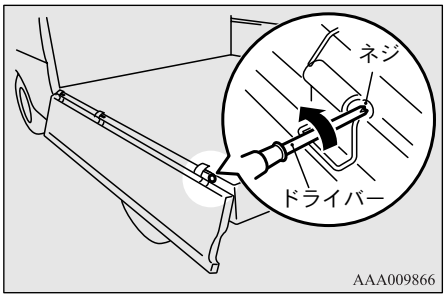
- サイドゲートには積荷の重量をかけないでください。
- リヤゲートチェーン付き車は，ゲートを閉じるとき，チェーンをはさまないように注意してください。
- 左右のサイドゲートを開けるときは，リヤゲートを開けてから行ってください。閉じるときは，サイドゲートを先に閉じてください。

取り外すときは

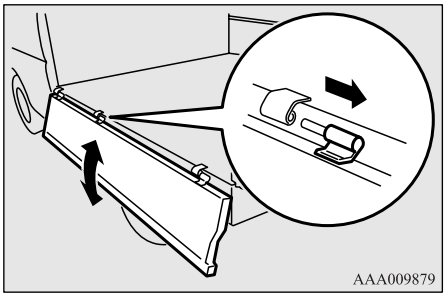
1. サイドゲートを開け，ネジを＋ドライバーなどで取り外します。

アドバイス

- ドライバーは標準装備されておりませんので市販品をお買い求めください。



2. サイドゲートを少し起こし，上下にゆらしながら後方に移動させて取り外します。



取り付けるときは

サイドゲートを取り付け，ネジを＋ドライバーなどで締め付けます。

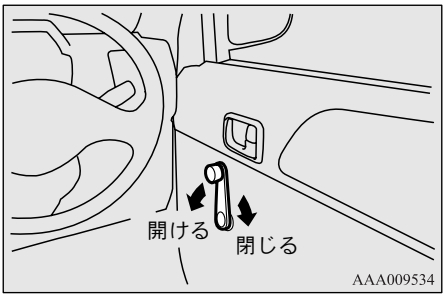
⚠注意

- 車体の端部などで手にけがをしないように作業を行ってください。
- けがをしないために，サイドゲートを取り外したり，取り付けたりするときは，サイドゲートを確実に持って行なってください。

マニュアルウインドウ

J00401400027

ハンドルを車両前方へ回すと開き，車両後方へ回すと閉じます。



エンジン点検口

J00402200019

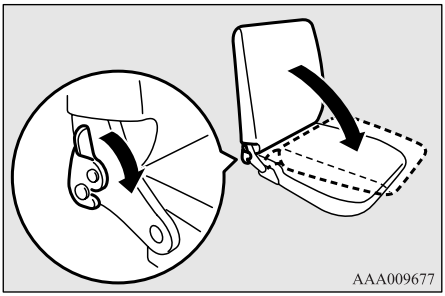
シートを操作することにより，エンジンルームの点検をすることができます。

⚠注意

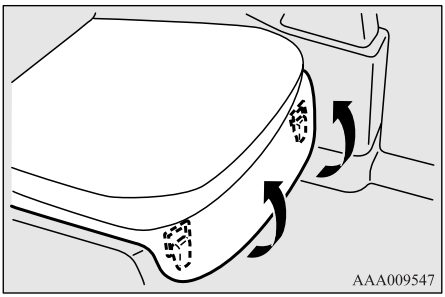
- シートパン（シートの裏側）が熱いことがありますので，やけどをしないように注意してください。

運転席シート

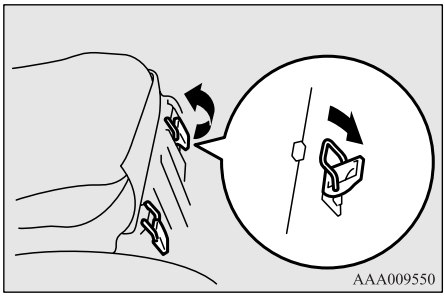
1. シートを後方へいっぱいまで移動します。
2. レバーを前へ押して背もたれを前に倒します。



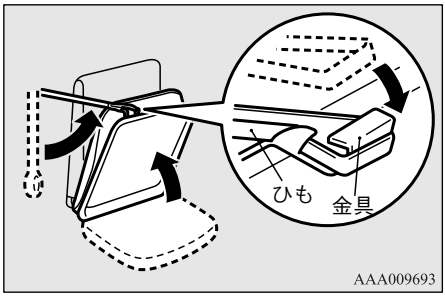
3. シートクッション下側のカーペットをめくります。



4. シートクッション下側のレバーを引き上げロックを外します。



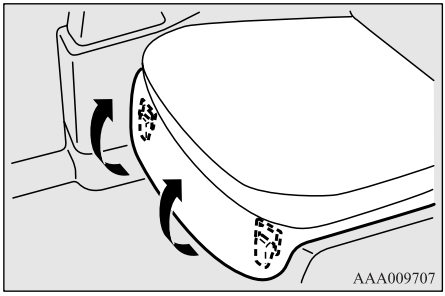
5. シート全体を持ち上げ，運転席シート右側のひもを金具にかけて確実に固定します。



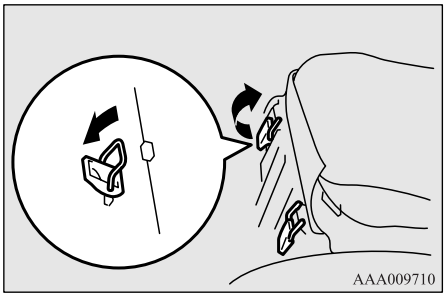
6. 元に戻すときは逆の手順で行います。
7. 元に戻した後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されていることを確認します。

助手席シート

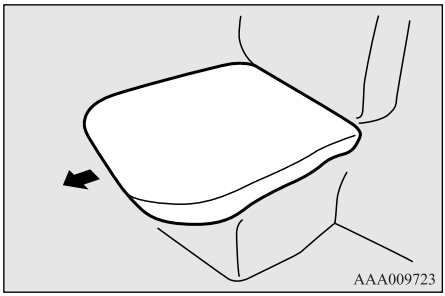
1. シートクッション下側のカーペットをめくります。



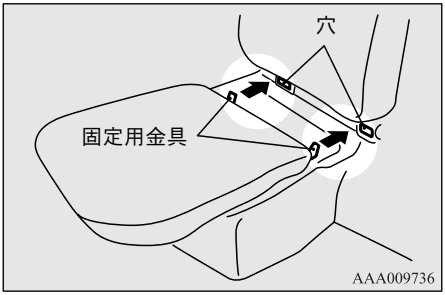
2. シートクッション下側のレバーを引き上げロックを外します。



3. シートクッションを前方に取り外します。



4. 元に戻すときはシートクッション固定用金具を背もたれ下の取り付け穴に差し込み，取り外すときと逆の手順で固定します。

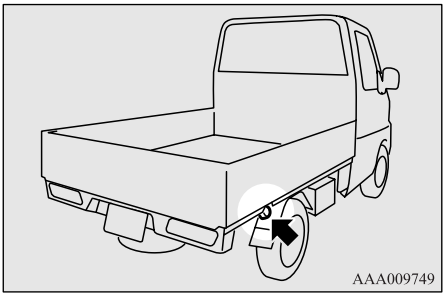


5. 元に戻した後はシートクッションを軽くゆすり，シートクッションが確実に固定されていることを確認します。

フューエルキャップ（燃料補給口）

J00402300472

フューエルキャップ（燃料補給口）は車両の右側後方にあります。



⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- フューエルキャップ（補給口）の解錠または取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

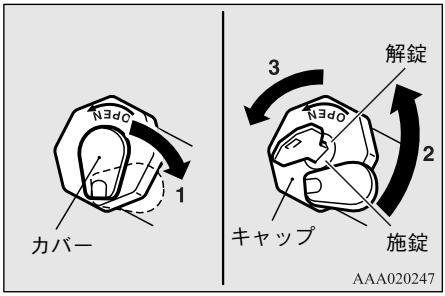
アドバイス

● 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
→「燃料は指定されたものを補給」 P. 2-2
→「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」 P. 15-2

開けるときは

J00405000164

1. カバーをずらします。
2. キーを差し込み，左に回して解錠します。
3. フューエルキャップを持ち，ゆっくり左に回して外します。



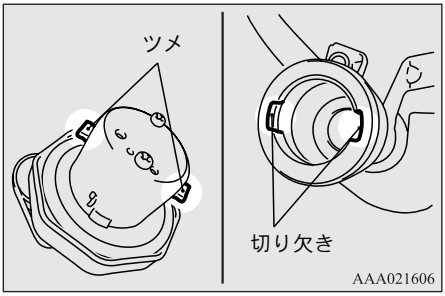
⚠警告

● 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
● フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

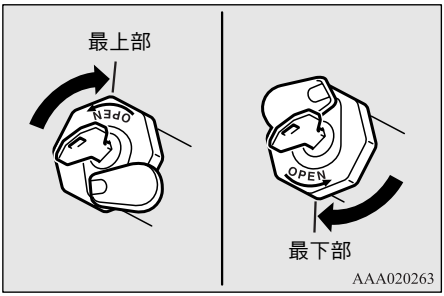
閉めるときは

J00405100181

1. フューエルキャップのツメを補給口の切り欠きに合わせて，フューエルキャップを取り付けます。



2. フューエルキャップの OPEN 文字が最上部または最下部になるまで，フューエルキャップを右に回して閉めます。



3. キーを右に回して施錠し，キーを抜きます。
4. カバーを戻します。

⚠警告

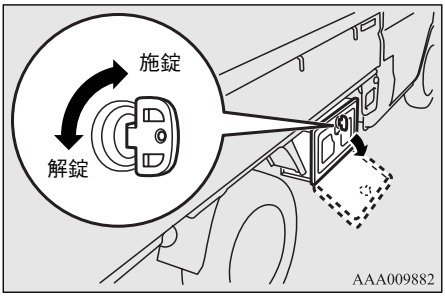
● フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料がもれ，火災になるおそれがあります。

キー付きロッカー

タイプ別装備

J00402600039

手袋やロープ，タイヤチェーンなどの収納にご利用ください。
キーを差し込み，車両後方に回すと解錠します。
元の位置に戻すと施錠され，キーを抜くことができます。



アドバイス

- ロッカーに防水機能はありません。
  水に濡れたり，ほこりにまみれたりすると支障があるものや貴重品などは入れないでください。
- 洗車をするときは，ロッカー内の荷物を取り出してください。

MEMO

MEMO

安全装備

シート
- シート調整 5- 2
- シート 5- 2

シートベルト
- シートベルト 5- 3
- プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト . . . 5- 6

チャイルドシート
- チャイルドシート 5- 8

SRSエアバッグ
- SRSエアバッグ 5- 10

シート調整

J00500200364

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をしたあとは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

シート

J00500300583

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

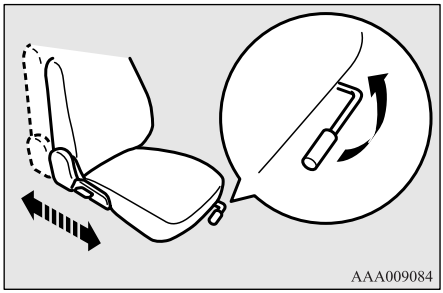
⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

前後調整（運転席）

J00500400089

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



シートベルト

J00505100557

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「シート」を参照してください。→ P. 5-2
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

⚠警告

- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200011

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

◆ 着用するときは

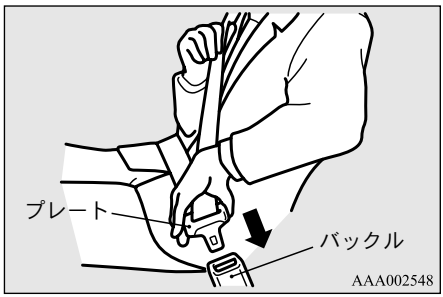
J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

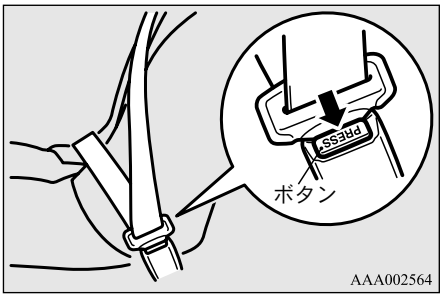


3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

J00507900054

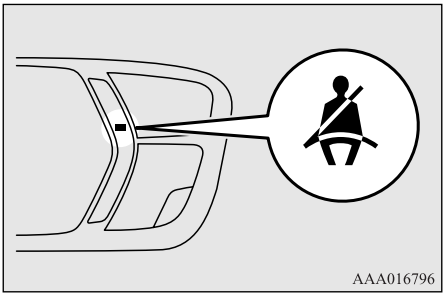
プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。



◆ シートベルト警告灯

J00509700160

エンジンスイッチが ON で運転席のシートベルトを着用していないと点灯し，運転者にシートベルトの着用をうながします。
シートベルトを着用すると消灯します。



プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

タイプ別装備

J00505700827

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「シート」P. 5-2
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-3

⚠注意

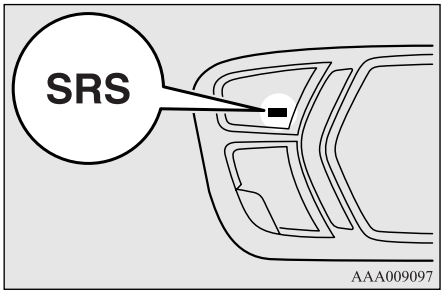
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。



⚠注意

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

フォースリミッター機構

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

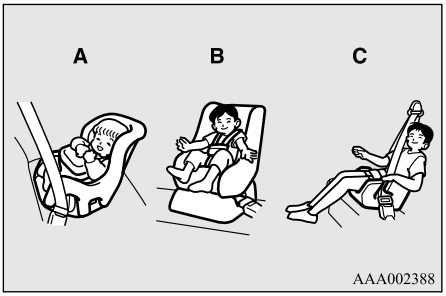
チャイルドシート

J00506000579

⚠警告

- シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

チャイルドシートには乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。また，シートの形状，サイズによっては固定できない場合があります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。



A- 乳児用（ベビーシート）
B- 幼児用（チャイルドシート）
C- 学童用（ジュニアシート）

＜選択の目安＞

	体重（kg）	身長（cm）	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	10未満	75以下	新生児~12か月
幼児用（チャイルドシート）	18未満	105以下	4才以下
学童用（ジュニアシート）	15~36	100~135	4才~10才

アドバイス

- 上記の表は体重・身長・年齢の目安を示しています。各製品により使用条件が異なりますので，必ず確認してください。

⚠警告

- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け方

J00506500604

⚠注意

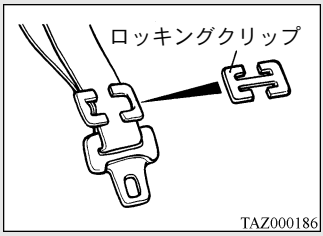
- チャイルドシートを装着するときは，チャイルドシートの取扱説明書にしたがい，正しく装着してください。

◆ 取り付けるときは

1. チャイルドシートを助手席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

⚠警告

- シートベルトの種類によってチャイルドシートの取り付け方法が異なります。各シートベルトに合わせて正しく取り付けてください。
  - 必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
    タイプによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。

SRSエアバッグ

タイプ別装備 J00506600663

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

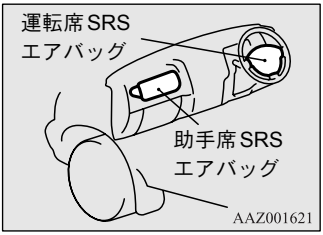
エンジンスイッチがONのときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



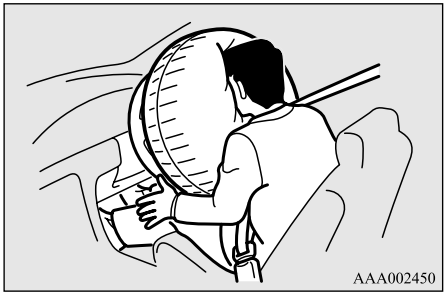
アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

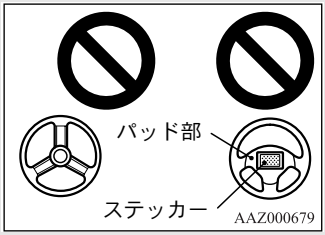
J00506700390

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。



⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

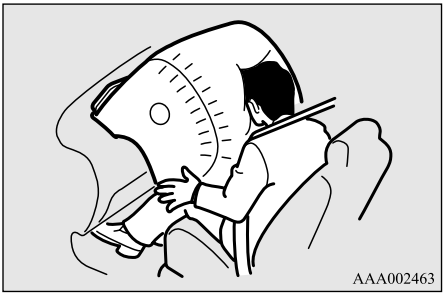


- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

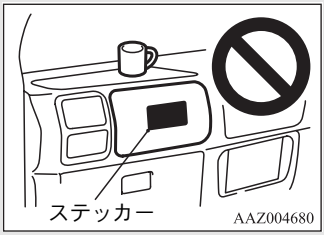
J00506800678

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。



⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，ステッカー等を貼らないでください。
  また，前面ガラスにアクセサリーを取り付けたり，ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



⚠警告

● お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートを装着してご使用ください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

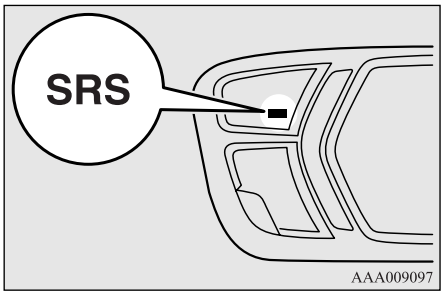
● 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507300449

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。



⚠注意

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどに SRS エアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

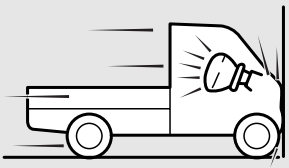
運転席・助手席SRSエアバッグの作動条件

J00506900389

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約25km/h以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃(左記と同等)を受けたとき

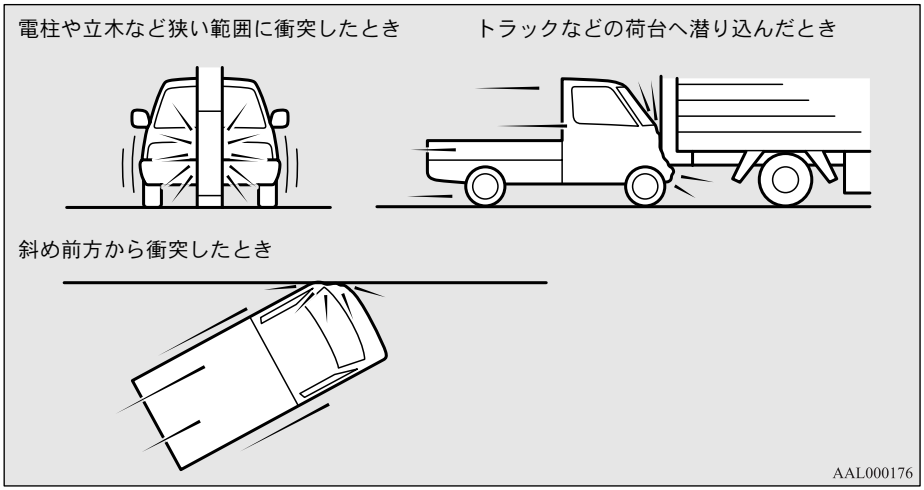
AAJ001456

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

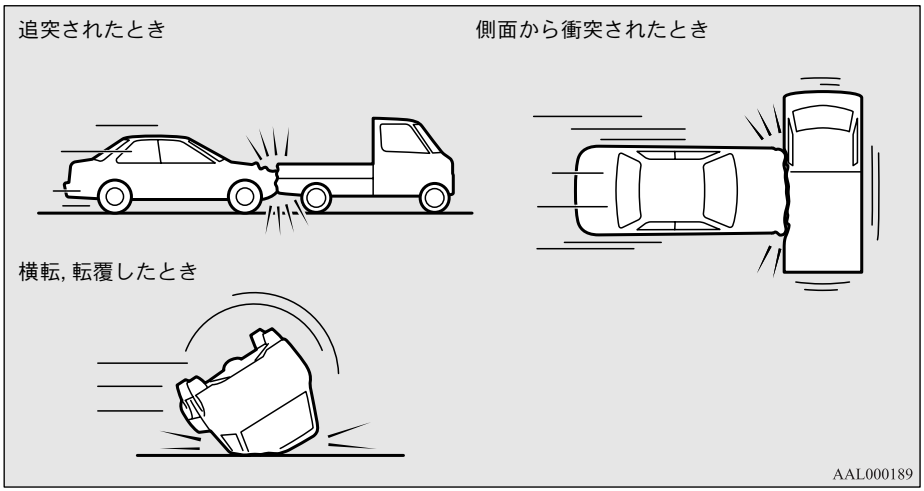
◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



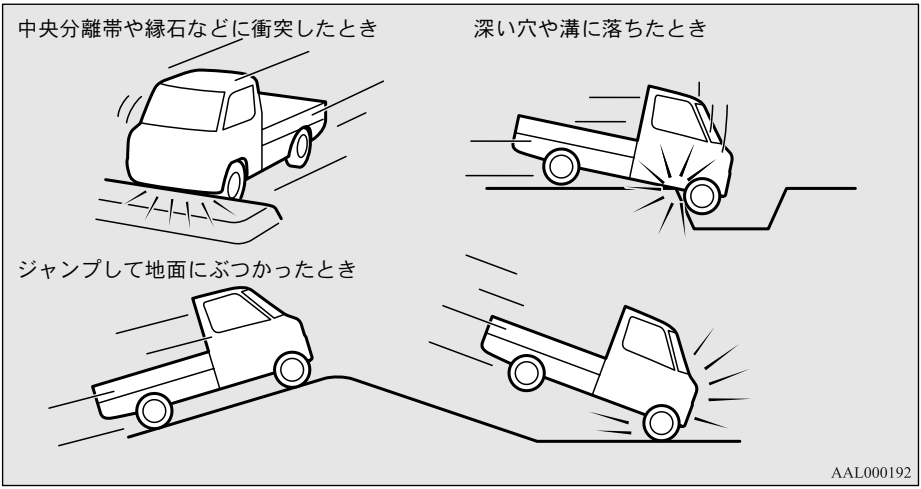
◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。



◆ 作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



取り扱い上の注意

J00507400424

⚠注意

- ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付け，および車両前部の修理をする場合は，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- ステアリングパッドやインストルメントパネル上部など SRS エアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。
  SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグコントロールユニットの取り扱いについてはつぎのことをお守りください。取り扱いを誤ると SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - SRSエアバッグコントロールユニットの取り外し，分解をしない。
  - SRSエアバッグコントロールユニットおよびその周辺に水をかけない。
  - SRSエアバッグコントロールユニットおよびその周辺に重い荷物を落としたり，強くけるなど，過度の力を加えない。

アドバイス

- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

MEMO

メーター・スイッチ

メーター

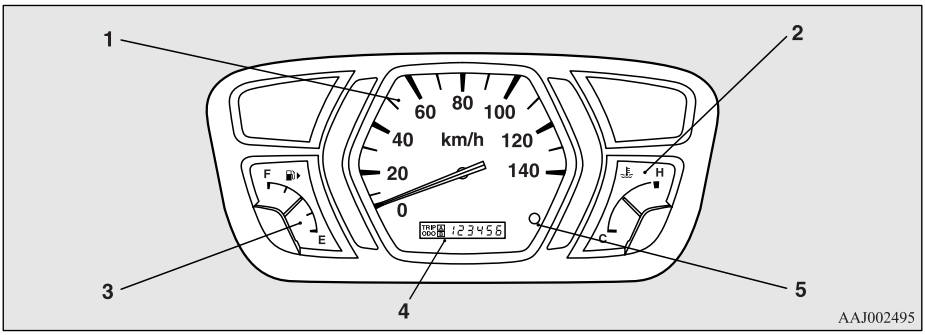
メーター 6- 2
表示灯･警告灯 6- 6
表示灯 6- 7
警告灯 6- 7

スイッチ

ライトスイッチ 6- 9
ヘッドライトレベリングダイヤル 6- 11
方向指示レバー 6- 12
非常点滅灯スイッチ 6- 12
ワイパー／ウォッシャースイッチ 6- 13
ホーンスイッチ 6- 14

メーター

J00600100364



1- スピードメーター
2- 水温計
3- 燃料計
4- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）
5- リセットボタン

スピードメーター

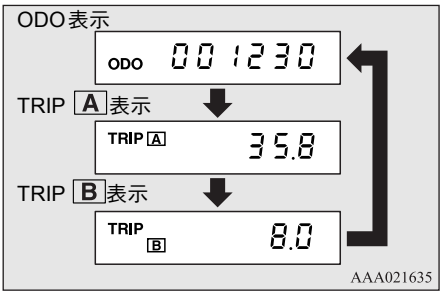
J00600200017

走行速度を示します。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00600600200

エンジンスイッチがONのとき，ODO（オドメーター）表示，またはTRIP（トリップメーター）表示をします。
リセットボタンを軽く（約1秒未満）押すたびに表示が切り換わります。



◆ オドメーター

走行した総距離をkm単位で表示します。

◆ トリップメーター

2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

TRIP A とTRIP B があります。

＜例＞

TRIP A で自宅を出発してからの距離を測りながら，TRIP B で途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

0に戻すにはリセットボタンを約1秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞

TRIP A が表示されていれば TRIP A だけリセットされます。

アドバイス

- トリップメーターはA, B共999.9kmまで計測することができます。
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示, B 表示とも記憶が消去され，表示が0に戻ります。

燃料計

J00600700100

エンジンスイッチがONのとき, 燃料の残量を示します。

F- 満タンです。（約40L）
E- 燃料を補給してください。

⚠警告

- **燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。**

⚠注意

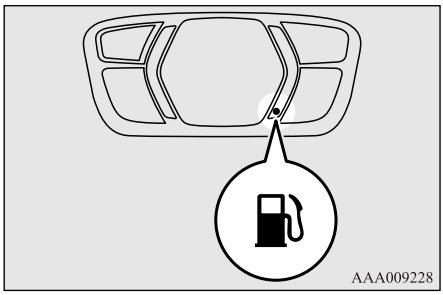
- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
  →「燃料残量警告灯」P. 6-5

アドバイス

- 坂道やカーブなどは，タンク内の燃料が移動するため，指針が振れることがあります。

◆ 燃料残量警告灯

J00605800614



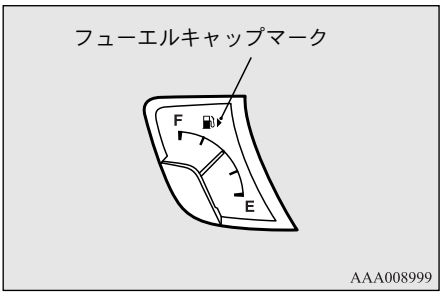
エンジンスイッチがONのとき, 燃料が約7L以下になると点灯します。
警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
→「フューエルキャップ（燃料補給口）」P. 4-12
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 15-2

アドバイス

- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

◆ フューエルキャップ位置表示

J00605900181



フューエルキャップ（燃料補給口）が車体の右側に付いていることを示しています。
→「フューエルキャップ（燃料補給口）」P. 4-12

水温計

J00600800013

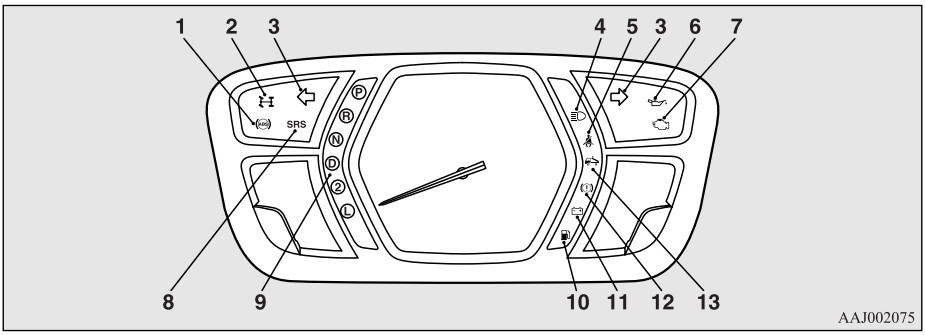
エンジンスイッチがONのとき, エンジン冷却水の温度を示します。

⚠注意

- 指針が「H」表示部に近づいたときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
→「オーバーヒートしたときは!」P. 13-23

表示灯・警告灯

J00601500307



1- ABS警告灯 タイプ別装備 → P. 7-24
2- 4WD作動表示灯（4WD車）→P. 7-19
3- 方向指示表示灯/非常点滅表示灯
4- ヘッドライト上向き表示灯
5- シートベルト警告灯→P. 5-6
6- 油圧警告灯
7- エンジン警告灯
8- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 タイプ別装備 → P. 5-13
9- セレクターレバー位置表示灯（A/T車）→ P. 7-12
10- 燃料残量警告灯 → P. 6-5
11- 充電警告灯
12- ブレーキ警告灯
13- ダンプ作動表示灯（楽床ダンプ）→P. 14-3

A/T：オートマチックトランスミッション
4WD車：4輪駆動車

表示灯

J00601600076

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700240

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

● 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800010

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

警告灯

J00602500072

ブレーキ警告灯

J00602600637

エンジンスイッチをONにすると，つぎのようなときに点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないとき。
  - 駐車ブレーキを戻しても消灯しないときや走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700263

エンジン制御装置に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，オートマチック車はクリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800222

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

J00602900249

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
  （点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

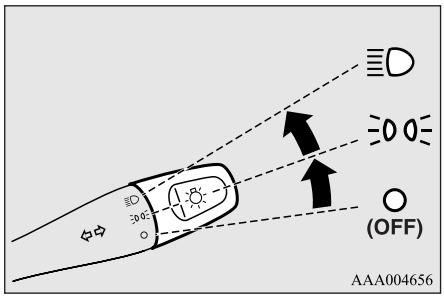
- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

ライトスイッチ

J00604000475

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≡D	≡DOE
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○



⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト[*1] オートカット機能（自動消灯）

J00606000163

[*1] ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

- ライトスイッチが≡Dまたは≡DOEの位置でも，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ピピッ，ピピッ」と鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≡Dまたは≡DOEの位置でも，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約30秒間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチとエンジンスイッチをOFFにします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≣DOE位置にすると降車後照明として利用できません。(自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。)
- 運転席から降車するとき，キーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザー（ピーッ）が鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザー（ピピッ，ピピッ）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約 30 秒後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- 運転席から降車しない場合は約 3 分後に自動消灯します。

ライト消し忘れブザー

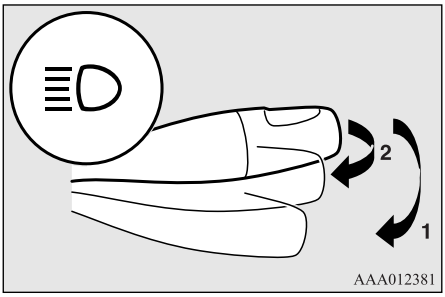
J00606100106

ライトスイッチが≣Dまたは≣DOEの位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFFにする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200354

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



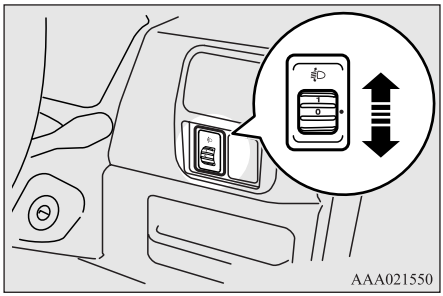
アドバイス

- ライトスイッチが O (OFF) 位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトレベリングダイヤル

J00604100678

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，荷物の重さによって変化します。荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。
ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“0”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

【トラック】

乗員や荷台の積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席乗車時＋荷台最大積載時	2

【パネルバン】

乗員や荷室の積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席乗車時＋荷室最大積載時	2

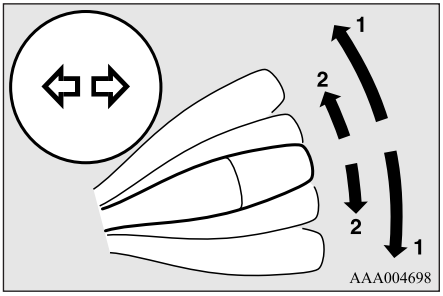
アドバイス

- 車検等で光軸調整をするときは，ダイヤルを “0” の位置 （光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

方向指示レバー

J00604200246

エンジンスイッチが ON のときにレバーを(1)まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

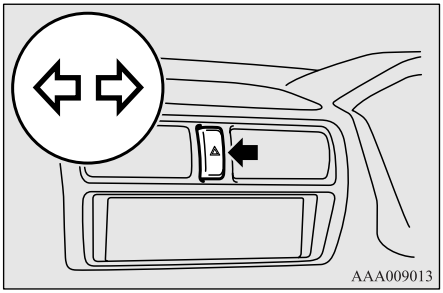
アドバイス

● 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

非常点滅灯スイッチ

J00604300377

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

● エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800196

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

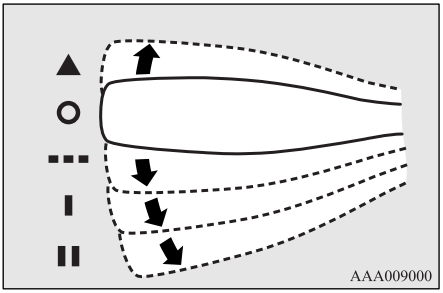
⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

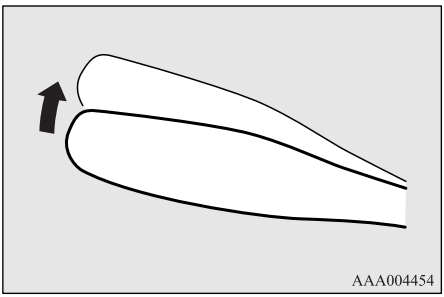
- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをOFFにし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

ワイパースイッチ



▲ 1回作動（ワイパーミスト機能）
o 停止
--- 間けつ作動（約4秒おき）
I 低速作動
II 高速作動

◆ ワイパーミスト機構

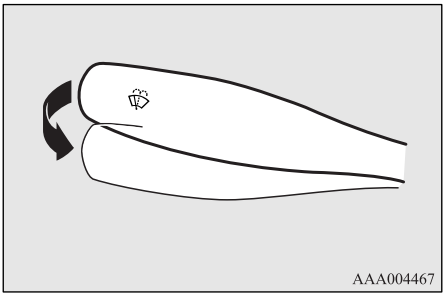


レバーを▲位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを▲位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

ウォッシャースイッチ

J00604900155

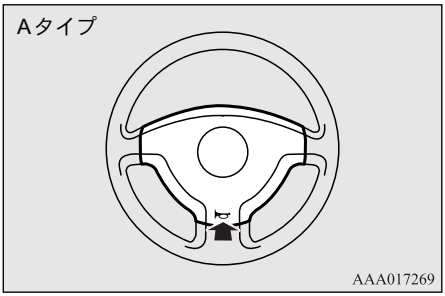
レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。

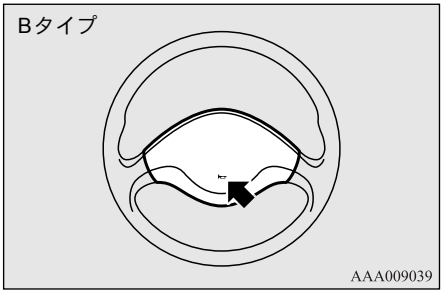


ホーンスイッチ

J00605600159

エンジンスイッチがONまたはACCのときにハンドルのマーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。





運転装置

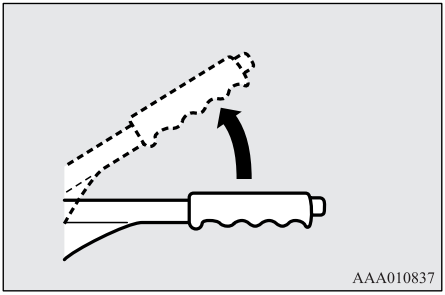
駐車ブレーキ 7- 2
ルームミラー 7- 3
ドアミラー 7- 3
サイドアンダーミラー 7- 4
エンジンスイッチ 7- 5
エンジンのかけ方 7- 7
マニュアルトランスミッション 7- 9
オートマチックトランスミッション 7- 11
オートマチック車の運転のしかた 7- 14
イージーセレクト4WD 7- 17
4WD車の上手な運転 7- 20
4WD車取り扱い上の注意 7- 21
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7- 23

駐車ブレーキ

J00700100482

かけるときは

ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。



7

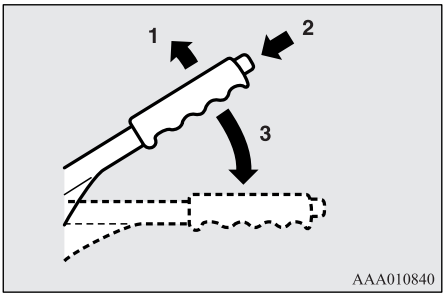
⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶または㊋，オートマチック車はセレクターレバーを㊊に入れてください。

解除するときは

1. レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

ルームミラー

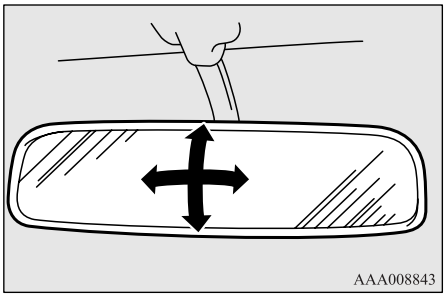
J00700300077

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。
走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして角度を調整します。



ドアミラー

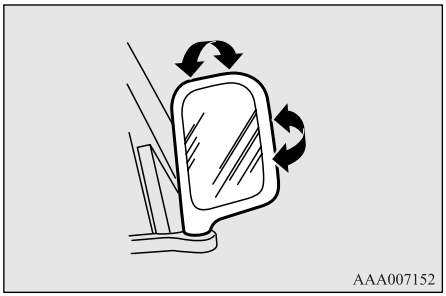
J00700500604

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。
● ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

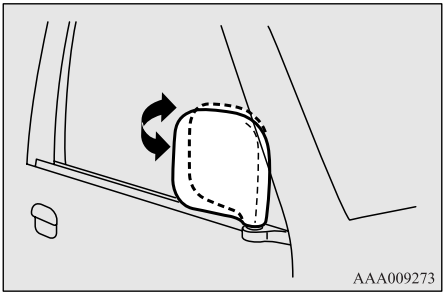
ミラーの角度調整

ミラー全体を動かして角度を調整します。



ドアミラーの格納・復帰

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときは車両前方へ起こします。



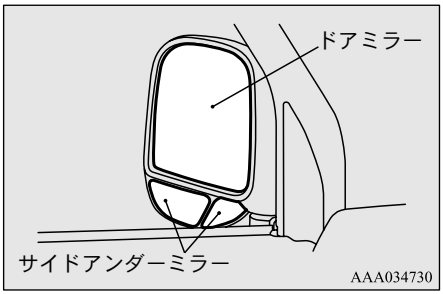
⚠注意

● ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

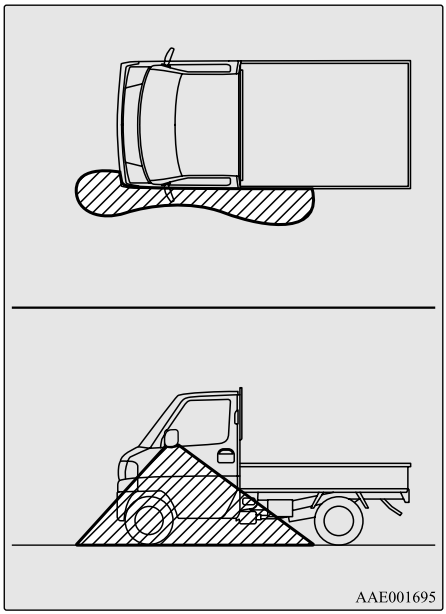
サイドアンダーミラー

J00700600083

発進時またはごく低速時に助手席側の車両側面を確認するときに使用します。



ミラーに映るおよその範囲



⚠注意

● 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。

⚠注意

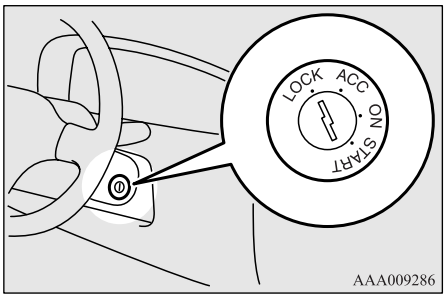
- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどで一旦停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。
- サイドアンダーミラーを倒したままで運転しないでください。

アドバイス

- サイドアンダーミラーの鏡面は固定式であり，鏡面を動かしてミラーの調整はできません。

エンジンスイッチ

J00700800737



各位置の働き

LOCK（ロック）	ハンドルがロックされる位置 キーを抜き差しできます
ACC（アクセサリー）	エンジンを止めたままでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できる位置
ON（オン）	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START（スタート）	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらキーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

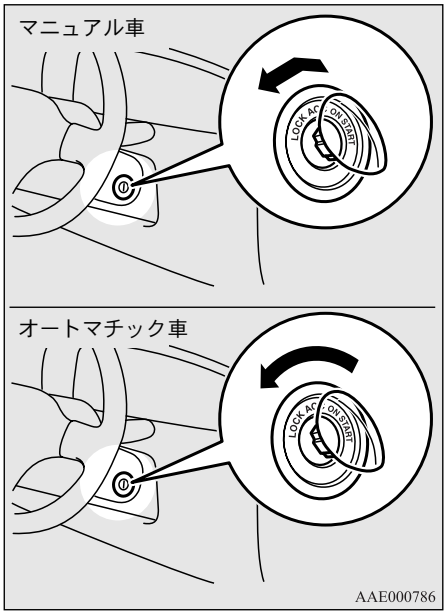
アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCKにしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，キーをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- キーがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

キーを抜くときは

J00706200225

LOCKまで回して抜きます。
マニュアル車はACCの位置でキーを押しながらLOCKまで回して抜いてください。



アドバイス

- オートマチック車はセレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。

エンジンのかけ方

J00700901041

⚠警告

- **車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。**
- **排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。**

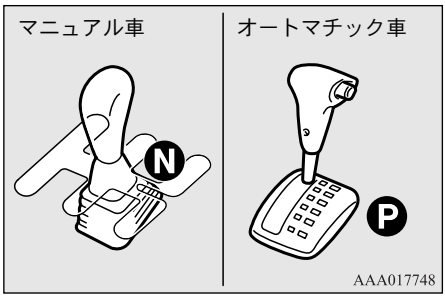
⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P. 6-8

アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- バッテリー交換後は，エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になる場合があります。
  エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
  →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは !」P. 13-27

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「シート」P. 5-2
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れてクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。オートマチック車はセレクターレバーがⓅにあることを確認します。



アドバイス

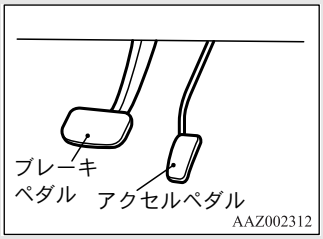
- オートマチック車はセレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

  クラッチスタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- **オートマチック車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。**
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



5. 外気温により，つぎの方法でエンジンをかけます。

通常時

アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTに回してエンジンをかけます。

厳寒時

1. アクセルペダルを半分程度踏み込んだままエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。
2. エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

⚠注意

- 厳寒時などアクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

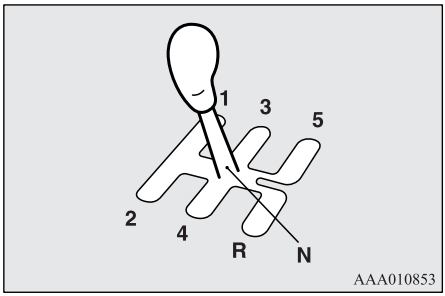
- エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

マニュアルトランスミッション

J00701300045

シフトレバー

シフトレバーは必ずクラッチペダルをいっぱいに踏み込んでから操作してください。



⚠注意

● Ⓡに入れるときは車を完全に停止させてから行ってください。

アドバイス

● クラッチペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。クラッチの早期摩耗，損傷の原因となります。
● ギヤが入りにくいときはクラッチペダルを踏み直すと楽に入ります。
● ❺→Ⓡへは直接入れることはできません。
一度Ⓝにしてから Ⓡへ入れてください。

変速位置とスピード範囲

J00706900264

エンジンを過回転させないため，各シフト位置での速度が下の表の数値を超えないようにしてください。

アドバイス

- 法定速度を守って走行してください。
- 各シフト位置の最低速度はノッキングが発生しない速度で使用してください。

項目		1速	2速	3速	4速
2WD		25 km/h	40 km/h	60 km/h	95 km/h
4WD（トランスファーシフトレバー付き車）	H	25 km/h	40 km/h	60 km/h	95 km/h
	L	10 km/h	20 km/h	35 km/h	55 km/h
4WD（除く、トランスファーシフトレバー付き車）		25 km/h	40 km/h	60 km/h	95 km/h

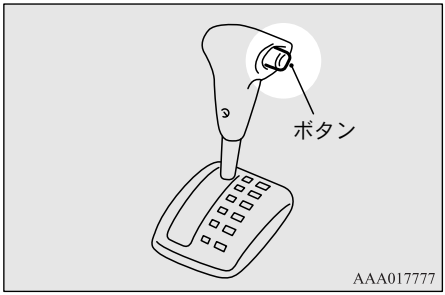
オートマチックトランスミッション

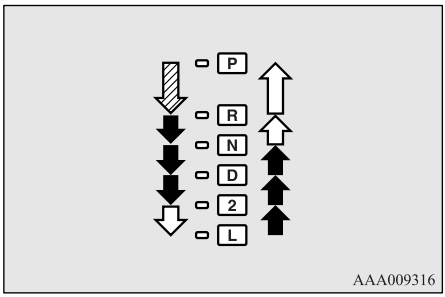
J00701900070

「安全なドライブのために：オートマチック車の取り扱い」も合わせてお読みください。→P. 2-14

セレクターレバーの動かし方

J00702000371





⇩ ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。

⬇ ボタンを押さずに操作します。

⇩ ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- ⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ，Ⓡ，Ⓛに入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

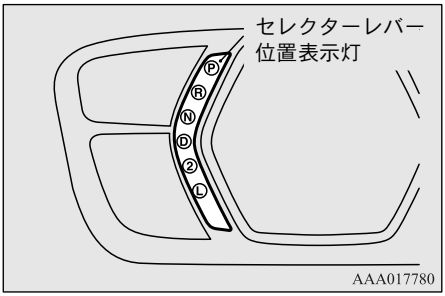
アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，キーが LOCK 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩ の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅ やⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

セレクターレバー位置表示灯

J00702200139

セレクターレバーの位置をランプで表示します。



7

セレクターレバーの位置・働き

J00702500305

P	(パーキング) 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅに入れてください。Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。
R	(リバース) 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り, Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

● ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	(ニュートラル) 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
D	(ドライブ) 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 (1速から3速まで自動的に変速されます。)
2	(セカンド) 下り坂走行	エンジンブレーキが必要なときに使います。 (1速から2速まで自動的に変速されます。)
L	(ロー) 急な下り坂走行	強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。 (1速のままで変速されません。)

⚠警告

● ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● エンジンの過回転を防止するためオートマチックトランスミッションの制御が働き, セレクターレバーを❷, Ⓛへ入れても変速しない場合があります。

オートマチック車の運転のしかた

J00702900950

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- **ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

- セレクターレバーをⓅ，ⓃⓃ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
  特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-14

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

- **セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。**

3. セレクターレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認し，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

⚠警告

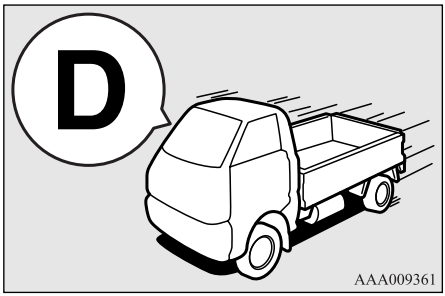
- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。
  エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまった場合，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

- セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで，前進の位置（Ⓓ，❷または❶）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

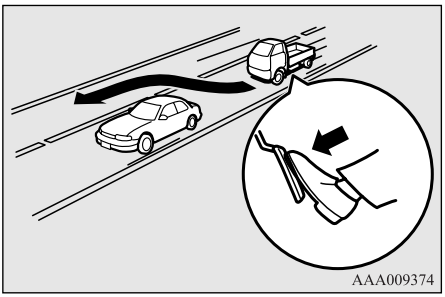
◆ 通常走行

セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。



◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



◆ 上り坂走行

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと，キックダウンしてエンジン回転が上がることがあります。このようなときは，あらかじめ❷にしておくと，変速回数が少なくなり，なめらかな走行ができます。

◆ 下り坂走行

セレクターレバーを❷に入れてエンジンブレーキを使います。
長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。必ずエンジンブレーキを併用してください。
→「ベーパロック」P.2-11
→「フェード現象」P.2-11

⚠警告

- 急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。

◆ 特に急な下り坂走行

強力なエンジンブレーキが必要なときは Ⓛに入れます。

⚠警告

- **急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。**

停 車

1. セレクターレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーがⓅ, Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーを(P)に入れます。

⚠注意

- (P)では車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーが(P)に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに(P)に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，駐車ブレーキをかける前にセレクターレバーを(P)に入れると，発進時のセレクターレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーが(P)以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

イージーセレクト4WD

J00707500065

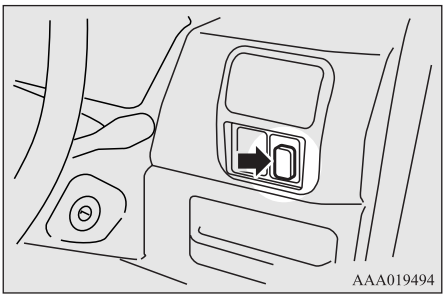
走行状況に合わせて駆動方式を切り換えることができます。

2WD- 一般道路や高速道路を走行するときに使用します。
4WD- 悪路，砂地，雪道など滑りやすい路面を走行するときに使用します。

4WD切り換えスイッチ

J00709200095

4WD 切り換えスイッチを押すごとに，2WD（後輪駆動）と4WD（4輪駆動）に切り換えることができます。
トランスファーシフトレバー付き車は，トランスファーシフトレバーが**H**のとき操作できます。



2WD↔**4WD**

走行中でも停車中でも操作できます。
走行中操作するときは車を直進状態にして，アクセルペダルをゆるめてから操作します。

⚠注意

- 乾いた舗装道路および高速道路では，絶対に4WD（4輪駆動）で走行しないでください。
  燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼きつきなどの重大な故障の原因となるおそれがあります。必ず2WD（後輪駆動）で走行してください。
- 雪道等で後輪を空転させたまま，4WD切り換えスイッチを操作しないでください。

アドバイス

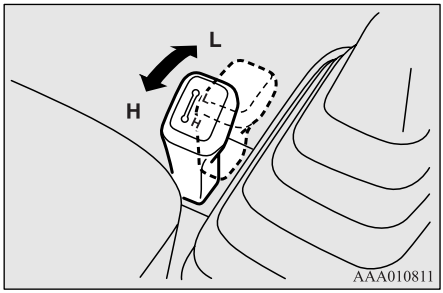
- 走行中の2WD（後輪駆動）と4WD（4輪駆動）の切り換えは時速80km/h以下で行ってください。
  また，走行中はつぎのことに注意してください。
  - 低温時に，2WD（後輪駆動）で走り始めてすぐに 4WD 切り換えスイッチを操作すると4WD（4 輪駆動）に切り換わらないことがあります。この場合，車を直進状態にしてしばらく徐行し，4WD 作動表示灯が点灯したことを確認してから通常走行してください。
  - 4WD（4 輪駆動）で走行中にハンドルを切ったまま 4WD 切り換えスイッチを操作すると 2WD（後輪駆動）に切り換わらないことがあります。この場合は，ハンドルを直進状態にして，アクセルペダルをゆるめると2WD（後輪駆動）に切り換わります。

トランスファーシフトレバー（マニュアル車）

タイプ別装備

J00707700041

4WD 切り換えスイッチが ON のとき，路面の状態に応じてトランスファーシフトレバーを各位置に切り換えます。



H（ハイレンジ4WD）
4WD切り換えスイッチON

悪路，砂地，深い雪道を走行するときに使用します。

L（ローレンジ4WD）
4WD切り換えスイッチON

特に大きな駆動力が必要な低速走行をするときに使用します。

H↔L

停車してクラッチペダルをいっぱいに踏むか，またはトランスミッションシフトレバーをN（ニュートラル）にしてからトランスファーシフトレバーを操作します。

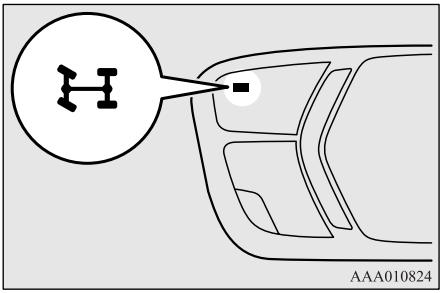
⚠注意

- 雪道等で後輪を空転させたまま，トランスファーシフトレバーを操作しないでください。
- 走行中はH↔Lの切り換えを行わないでください。

4WD作動表示灯

J00707800101

エンジンスイッチがONのとき，メーター内の4WD作動表示灯にトランスファーの切り換え状態を表示します。
4WD（4 輪駆動）のときは点灯し，2WD（後輪駆動）のときは消灯します。



アドバイス

- 4WD 切り換えスイッチを ON にしても4WD作動表示灯が点灯しないときは車を直進状態にしてしばらく徐行し，4WD 作動表示灯が点灯したことを確認してから通常走行してください。
- 4WD 切り換えスイッチを OFF にしても4WD作動表示灯が消灯しないときは周囲の安全を確認して加速，減速または後退を行い，4WD作動表示灯が消灯したことを確認してから走行してください。
  加速，減速または後退を行っても4WD作動表示灯が点灯したままのときは，4WD切り換えスイッチをOFFにしたまま，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4WD車の上手な運転

J00707400064

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。
2WD車と同様，ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転を心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - オフロード走行は避けてください。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

砂地やぬかるみなどにはまったときは

むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。
→「こんなことでお困りのときは!－タイヤがスリップして発進できない」P.13-7

⚠注意

- 砂地では無理な走行をしないでください。一般道路に比べてエンジンや駆動系部品への負担が大きくなり，思いがけない故障の原因になります。
- 走行中，水温計の針が「H」表示部に近づいたときは，ただちに安全な場所に停車して処置してください。
  →「オーバーヒートしたときは !」P. 13-23

急な坂道を登るときは

トランスファーシフトレバー付き車

トランスファーシフトレバーを[L]（ローレンジ4WD）に入れ，エンジンの出力を有効に使います。

⚠注意

- 斜めに蛇行しながら登坂することは避け，できるだけまっすぐに登坂してください。

アドバイス

- 石，砂および凸凹の少ないところを選び，登り始めと終わりはなだらかな傾斜を選んでください。
- 登る前には，車がその斜面を登れるかどうか，一度自分の足で頂上まで歩いて確認してください。

急な坂道を降りるときは

トランスファーシフトレバー付き車

トランスファーシフトレバーを[L](ローレンジ4WD）に入れ，タイヤがロックしないようにエンジンブレーキを使いゆっくり降ります。

⚠注意

- 斜めに蛇行しながら降りることは避け，できるだけまっすぐに降りてください。

アドバイス

- 坂を降りているとき，前方に障害を見つけてあわててブレーキをかけると，車のコントロールを失うことがありますので，できるだけ降りる前に歩いて斜面の状態を確認してください。
- 坂を降りているときに，途中で変速やクラッチ操作をすることは避けて，あらかじめ坂の状態に応じた変速ギヤを選んでおくことが必要です。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600665

乾燥した舗装道路を走行するときは

⚠注意

- 乾いた舗装道路は 2WD（後輪駆動）で走行してください。
  特に，乾いた高速道路は絶対に4WD（4輪駆動）で走行しないでください。
  乾いた舗装道路を4WD（4輪駆動）で走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障の原因となるおそれがあります。
  必ず 2WD（後輪駆動）で走行してください。

急なカーブを回るときは

4輪駆動時に，急なカーブを低速で旋回した場合，ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。
これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので，前，後輪のタイヤの軌跡（回転差）が違うために生じる4輪駆動車特有の現象です。
このような現象が発生したときには，ハンドルを直進状態に戻すか後輪駆動に切り換えることによって解消することができます。

⚠注意

- 急旋回したときは，タイトコーナーブレーキング現象を起こし，運転しにくくなりますので，急な旋回は避けてください。

タイヤ，ホイールについて

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ, ホイールのサイズ」P. 15-8
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-4
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 15-10

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
  車種によっては，前後輪のタイヤが異なる場合があります。交換するときは装着してある元のタイヤと同じサイズのタイヤを使用してください。

けん引について

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

4WD 切り換えスイッチを操作して 2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。

→「4WD 切り換えスイッチ」P. 7-18

→「けん引」P. 13-24

⚠注意

- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないとき，トランスミッションオイルが不足しているとき，トランスミッションが故障したときは，必ず4輪とも持ち上げてレッカー車で搬送してください。
- オートマチック車のけん引される速度は 30km/h 以下，けん引される距離は 30km以内にしてください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させたりしないでください。
  接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

クラッチペダルを操作するときは

エンジンの回転が高いときクラッチを急に接続したり，中途半端な踏み方をすると，けん引力が大きいのでクラッチやトランスミッションなどを損傷させるおそれがあります。
ペダルの操作はゆっくりと確実に行ってください。

アンチロックブレーキシステム（ABS）

タイプ別装備

J00703000062

アンチロックブレーキシステム（ABS）とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，エンジンルーム内よりモーター音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これはABS装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/hまで下がると作動を停止します。

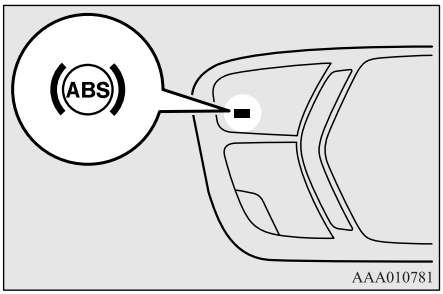
ABS警告灯

J00704500396

正常なときは，エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600267

- 安全な場所に車を止めてから，エンジンを停止し，再度エンジンをかけます。その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても点灯したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABSは作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても点灯したままのときや，たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

MEMO

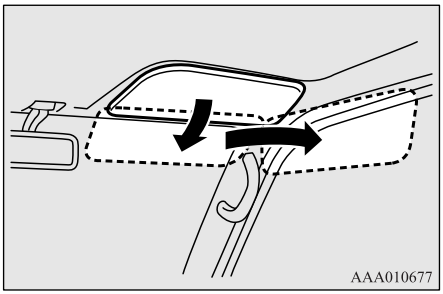
室内装備

サンバイザー 8- 2
灰皿 8- 2
シガレットライター 8- 3
室内灯 8- 4
荷台作業灯 8- 4
グローブボックス 8- 5
カップホルダー 8- 5

サンバイザー

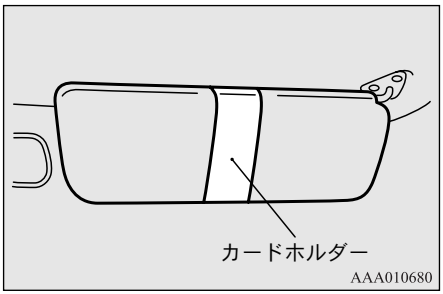
J00900100383

前面だけでなく，側面にも回せます。



カードホルダー

運転席サンバイザーの裏側にあり，通行券などをはさむことができます。



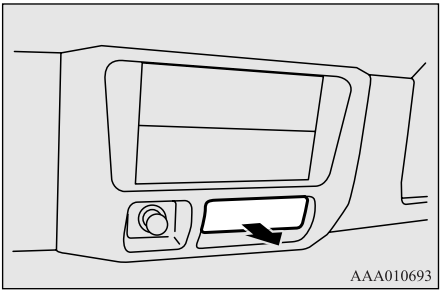
灰皿

J00900300398

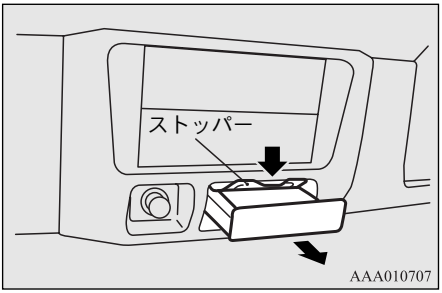
⚠注意

- タバコ・マッチの火は確実に消してから灰皿に入れ，使用後は必ず閉めてください。開けたままにしておくと他の吸いがらに火が燃え移るおそれがあります。
- 灰皿には吸いがらをためすぎたり，紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
  火災の原因となります。

使用するときは引き出します。



掃除するときは，灰皿のストッパーを押したまま引き出します。

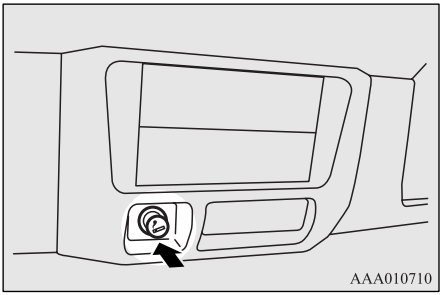


シガレットライター

タイプ別装備

J00900400432

エンジンスイッチがONまたはACCのときにシガレットライターを押し込んで手を離します。
しばらくすると音がして戻ります。



⚠注意

- お子さまにシガレットライターを扱わせないでください。
- シガレットライターが過熱し，火災を招くことがありますのでつぎのことをお守りください。
  - 押さえつけたままにしないでください。
  - シガレットライターを改造したりしないでください。
  - 他車のシガレットライターを使用しないでください。
- 市販の電気製品を使用しないでください。ソケットが損傷する原因となります。
  ソケットが損傷した場合に使用すると，シガレットライターが飛び出したり，押し込まれたまま戻らなくなるおそれがあります。
- シガレットライターを扱うときは，熱している部分や，その近くはさわらずにノブのみをさわってください。
- シガレットライターを押し込んでから30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き抜き，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- シガレットライターをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- ソケットを使用するときは，必ず12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。
  また，エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

室内灯

J00900800058

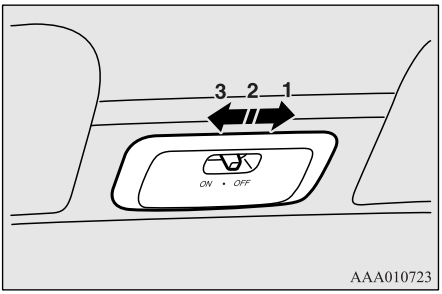
アドバイス

● エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルームランプ

J00900900899

1. (OFF)
ドアの開閉に関係なく消灯します。
2. (●)
運転席ドアを開けると点灯，閉じると消灯します。
3. (ON)
ドアの開閉に関係なく点灯します。

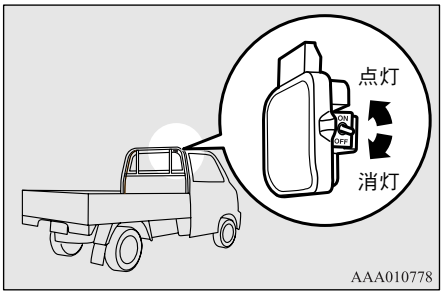


荷台作業灯

タイプ別装備

J00902100039

夜間など荷台での作業時にご使用ください。エンジンスイッチが ON または ACC で駐車ブレーキレバーをかけた状態のときに使用できます。



⚠注意

● 作業時以外はスイッチを点灯の位置にしないでください。
停車時などに駐車ブレーキをかけると，荷台作業灯が点灯し，後続車の迷惑になるおそれがあります。

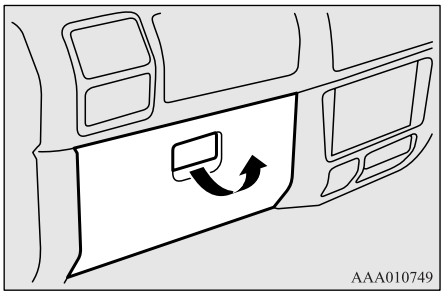
アドバイス

● 駐車ブレーキレバーをかけていないと荷台作業灯は，点灯しません。
● エンジンがかかっていないときに長い間荷台作業灯を点灯したままにしておくとバッテリーが上がることがあります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

グローブボックス

J00902200069

レバーを引くと開きます。



⚠注意

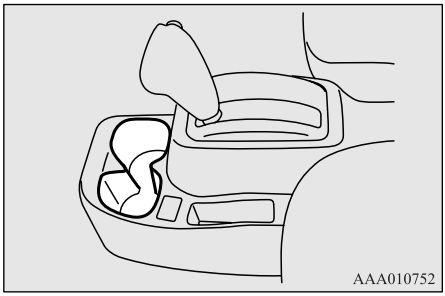
● 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

● 車を離れるときはグローブボックス内に貴重品を入れたままにしないでください。

カップホルダー

J00903800105



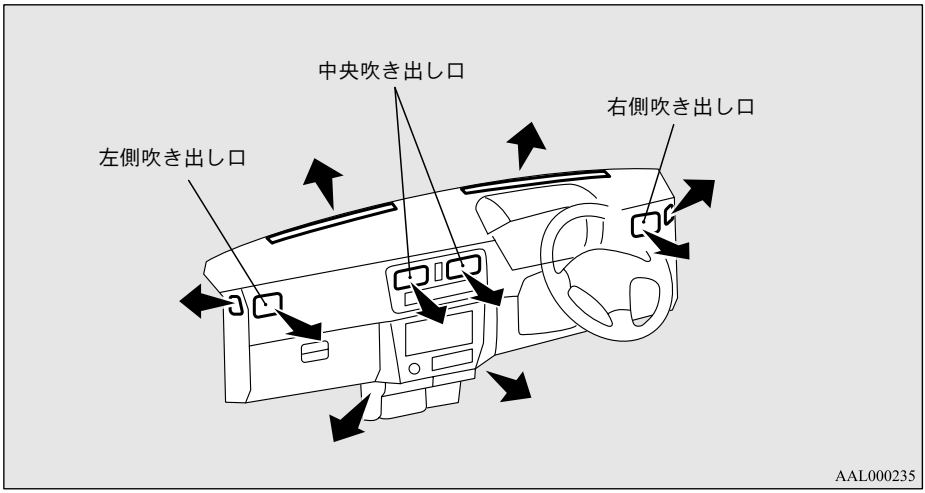
MEMO

エアコン

吹き出し口 9- 2
ヒーター•マニュアルエアコン 9- 4
エアコンの上手な使い方. 9- 9
クリーンエアフィルター. 9- 10

吹き出し口

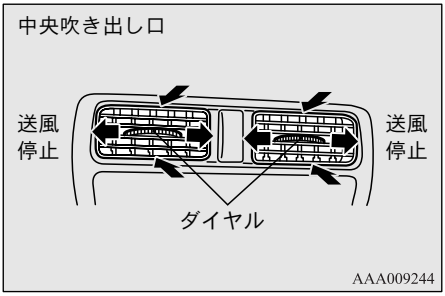
J01000100091

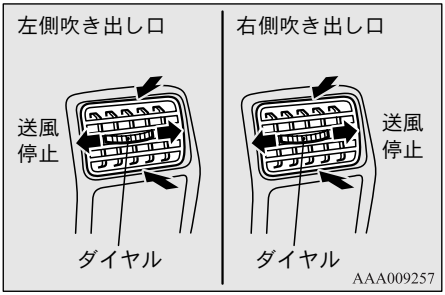


風向き調整

J01000300396

ダイヤルを動かして左右の風向きを調整します。
上下の風向きは吹き出し口の上側，または下側を押して調整します。
また，ダイヤルを外側いっぱいに動かすと送風を停止します。





アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。(エアコン付き車)
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。(エアコン付き車)

吹き出し口の切り換え

J01000400531

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

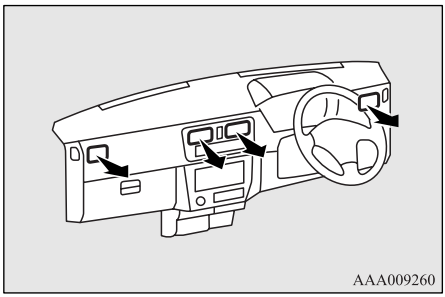
→「吹き出し口切り換えダイヤル」P. 9-5

→:風量弱

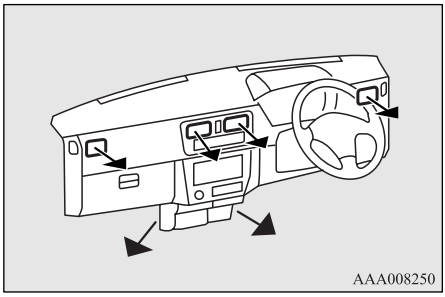
➔:風量中

➔:風量強

上半身に送風したいとき



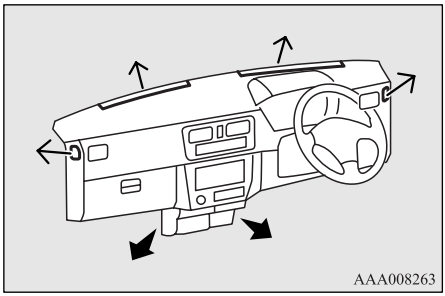
上半身と足元に送風したいとき



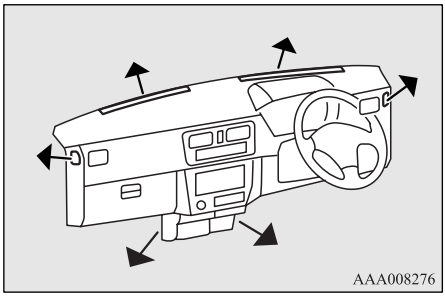
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く，と の間にすると足元へ多く送風されます。
- 夏期，足元付近に暑さを感じる場合は吹き出し口切り換えダイヤルをの位置にセットし送風すると効果的です。

足元に送風したいとき



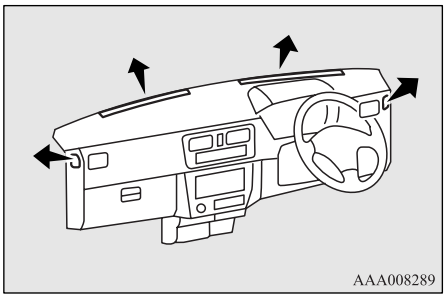
足元とウインドウガラスに送風したいとき



アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルをと の間にすると足元へ多く，と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき

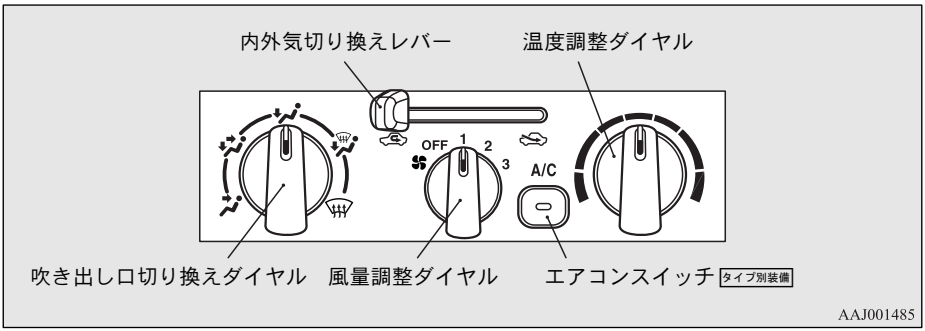


ヒーター・マニュアルエアコン

タイプ別装備

J01000500170

エンジンスイッチがONのときに使用できます。



- スイッチの使い方 P. 9-5
- 目的に合った使い方
  - 暖房したいときはP. 9-7
  - 冷房したいときは（エアコン付き車）P. 9-7
  - 頭寒足熱にしたいときはP. 9-7
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-8
  - 暖房と曇り止めを同時にしたいときは P. 9-8
  - 換気したいときはP. 9-8
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-8

9

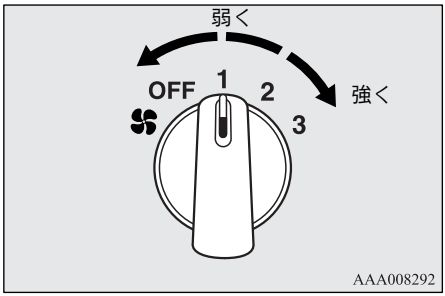
スイッチの使い方

J01000600012

◆ 風量調整ダイヤル

J01000700185

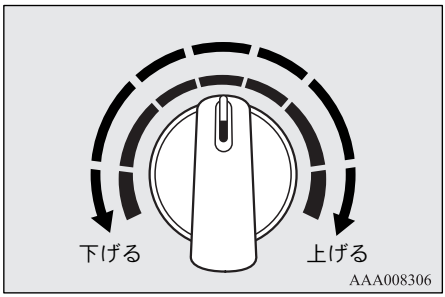
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。



◆ 温度調整ダイヤル

J01000900259

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。



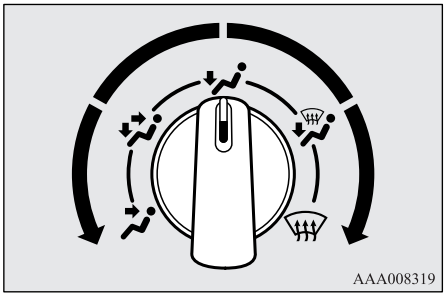
アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01001100072

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3



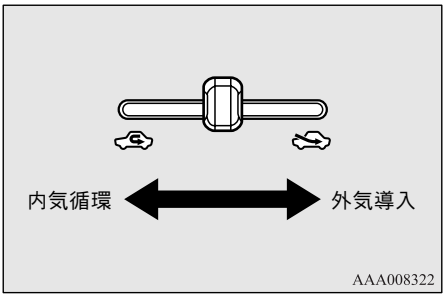
⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
→「内外気切り換えレバー」P. 9-6

◆ 内外気切り換えレバー

J01001400020

外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。



- 通常走行時
- 早く冷房したいときや外気が汚れているとき

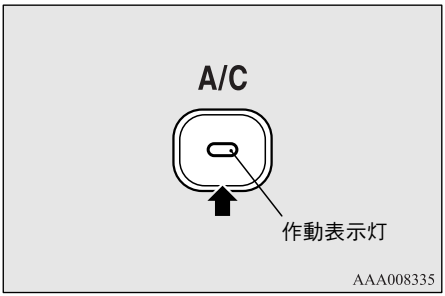
⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- エアコン付き車は，早く冷房したいとき内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

◆ エアコンスイッチ タイプ別装備

J01001500063

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。



⚠注意

- オートマチック車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-14

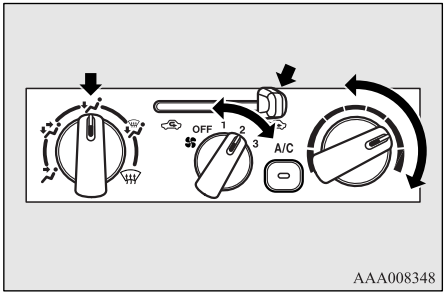
9

目的に合った使い方

J01001700010

◆ 暖房したいときは

J01001800079



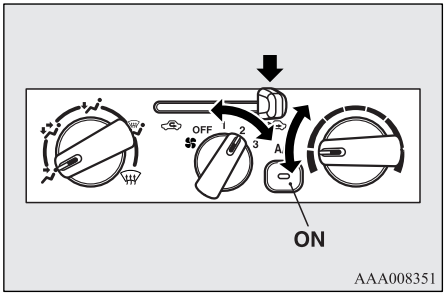
AAA008348

アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルが のとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。

◆ 冷房したいときは（エアコン付き車）

J01001900214



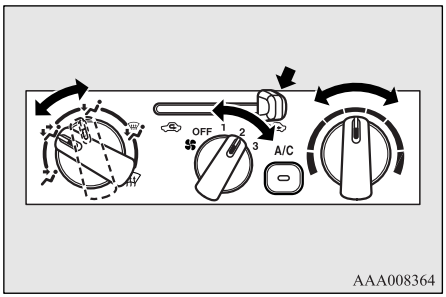
AAA008351

⚠注意

- 早く冷房したいとき内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

◆ 頭寒足熱にしたいときは

J01002000078

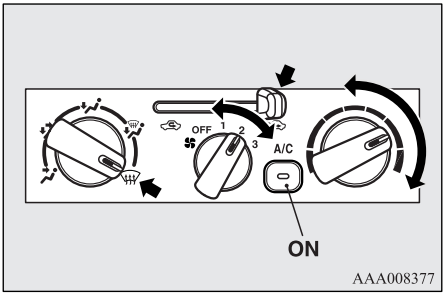


AAA008364

9

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01002100079



早く曇り，霜を取りたいときは風量調整ダイヤルで風量を最大にし，温度調整ダイヤルで温度を最高に設定して，エアコン付き車はエアコンを使用してください。

⚠注意

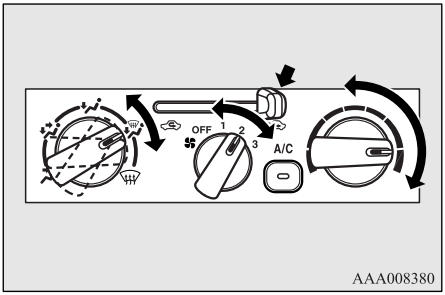
- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

アドバイス

- エアコン付き車は，位置でエアコンを使用しているときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

◆ 暖房と曇り止めを同時にしたいときは

J01002200070

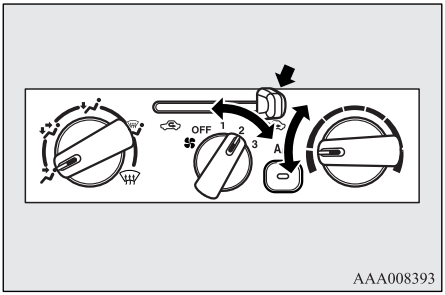


アドバイス

- エアコン付き車は，エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 換気したいときは

J01002300071



◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01009600060

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えレバーを内気循環にします。

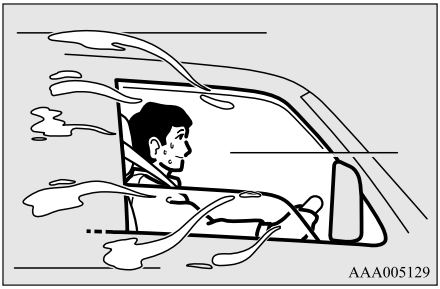
→「内外気切り換えレバー」P. 9-6

エアコンの上手な使い方

J01009400505

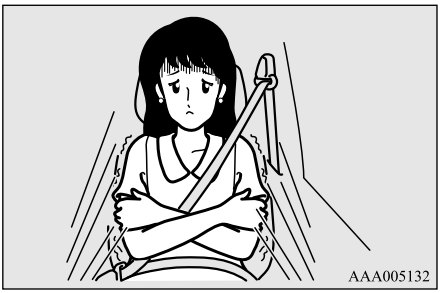
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。



冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。



定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンルーム内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

9

クリーンエアフィルター

J01009500069

ほこりなどを取り除くため，内気循環のときに効果のあるフィルターを装着しています。フィルターにほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に清掃することをおすすめします。
→「エアフィルターの清掃」P. 11-5

アドバイス

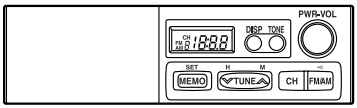
- 吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは清掃時期ですのでフィルターの清掃をしてください。（清掃時期の目安:1年または12,000kmのいずれか早いとき）

オーディオ

AM電子同調ラジオ（時計付き）P. 10-2

AAI000175

AM/FM電子同調ラジオ（時計付き）P. 10-7



AAI000188

ラジオの上手な使い方 10- 12
アンテナ 10- 12

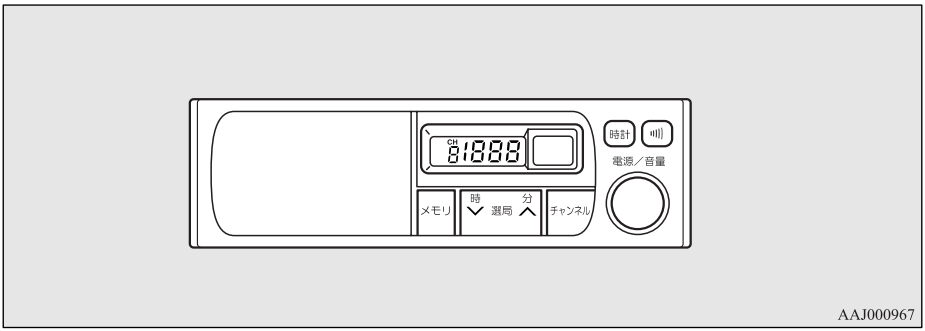
10

AM電子同調ラジオ（時計付き）

タイプ別装備

J01100100210

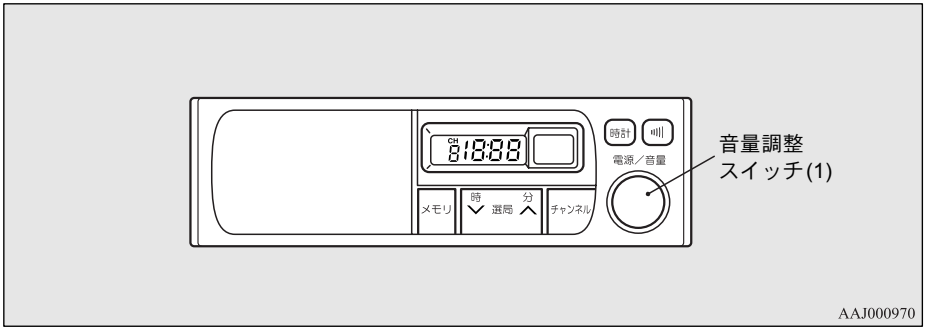
エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。



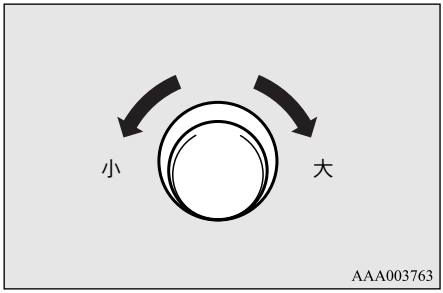
- 音量調整のしかたP. 10-3
- ラジオを聞くときは P. 10-4
  - 放送局を選局するときは P. 10-4
  - 放送局を記憶させるときは P. 10-4
  - 交通情報を聞くときは P. 10-5
- 時計を合わせるときは P. 10-6
- 表示を切り換えるときは P. 10-6

音量調整のしかた

J01113400015



音量調整スイッチ(1)で調整します。

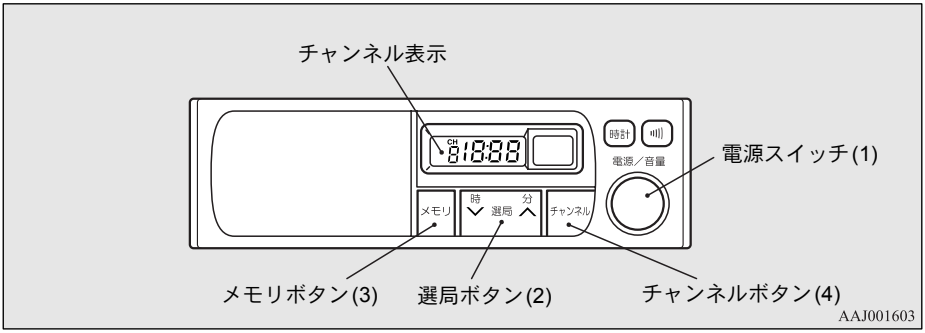


⚠注意

● 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

ラジオを聞くときは

J01100500126



1. 電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. 選局ボタン (2) を押して聞きたい放送局を選びます。

◆ 放送局を選局するときは

J01103500071

手動で選局するときは

選局ボタン(2)を押します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは
  ∧側
- 周波数の低いほうへ選局するときは
  ∨側

自動で選局するときは

選局ボタン (2) を約 1 秒以上押し続けます。

- 周波数の高いほうへ選局するときは
  ∧側
- 周波数の低いほうへ選局するときは
  ∨側

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

◆ 放送局を記憶させるときは

J01103600199

6局を記憶させておくことができます。

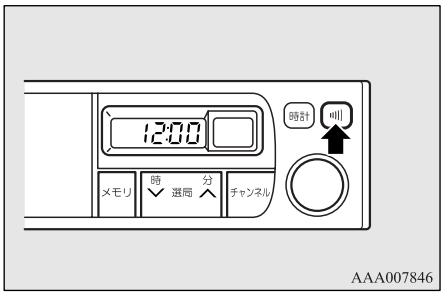
1. メモリボタン (3) を押すとチャンネル表示が点滅します。
2. 選局ボタン (2) を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. チャンネルボタン (4) を押し，記憶させたいチャンネルを選びます。
4. 再びメモリボタン (3) を押したら完了です。
5. 次回からはチャンネルボタン (4) を押すごとにチャンネルが切り換わり，記憶されている放送局を受信します。

アドバイス

- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

◆ 交通情報を聞くときは

J01103800074



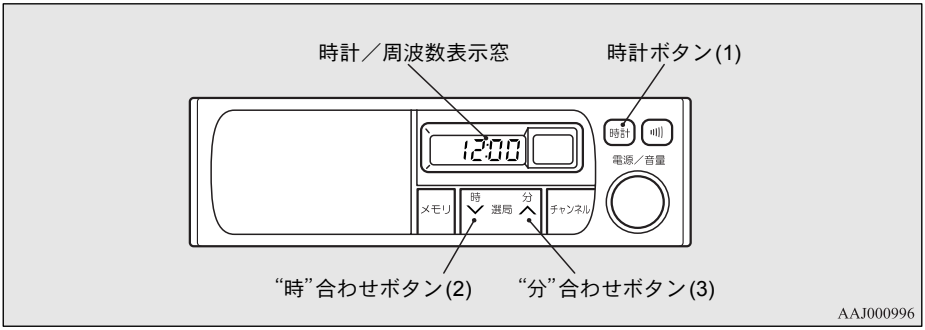
交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタンを押すと交通情報局(1620kHz)を受信します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に 1629kHz の交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。

時計を合わせるときは

J01113500058



周波数表示窓は通常時計表示となっています。
ラジオ使用時に時計ボタン(1)を軽く押すと，周波数表示に切り換わります。
もう一度押すと時計表示になります。

◆ 時刻の合わせ方

J01113700034

1. 時計ボタン (1) を押し続け時計表示を点滅させます。
2. 「時・分合わせ」
   “時”合わせボタン(2)，“分”合わせボタン(3)を押して時刻を合わせます。押し続けると早送りになります。
   時刻を合わせたら，時計ボタン (1) を押し，時計表示の点滅を解除します。

アドバイス

- バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。

表示を切り換えるときは

J01101500019

通常は，時計表示となっています。
ただし，ラジオの電源を入れたときや選局ボタン，メモリボタン，チャンネルボタン，交通情報ボタンを押したときは一時的に周波数表示に切り換わります。

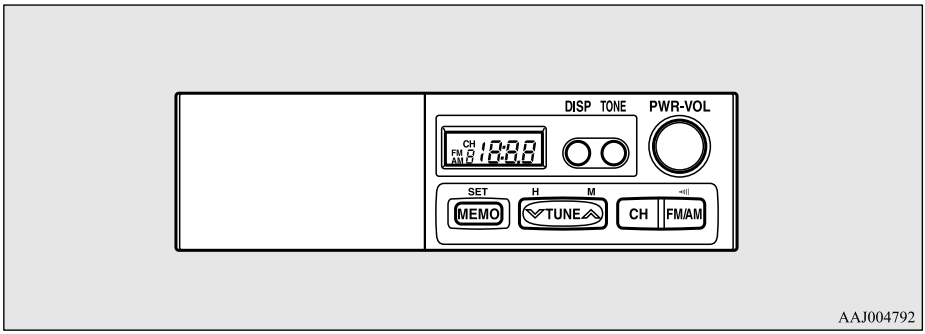
ラジオ使用時に常に周波数表示にしておきたいときは，時計ボタン(1)を軽く押してください。
もう一度押すと時計表示に戻ります。

AM/FM電子同調ラジオ（時計付き）

タイプ別装備

J01100100340

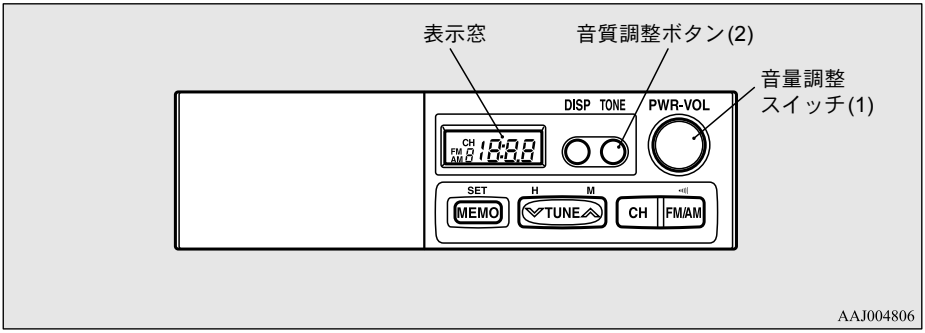
エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。



- 音量・音質調整のしかたP. 10-8
  - 音量調整P. 10-8
  - 音質調整P. 10-8
- ラジオを聞くときは P. 10-9
  - 放送局を選局するときは P. 10-9
  - 放送局を記憶させるときは P. 10-9
  - 交通情報を聞くときは P. 10-10
- 時計を合わせるときは P. 10-11
- 表示を切り換えるときは P. 10-11

音量・音質調整のしかた

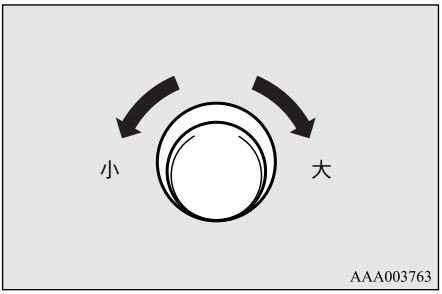
J01100300108



◆ 音量調整

J01102300085

音量調整スイッチ(1)で調整します。



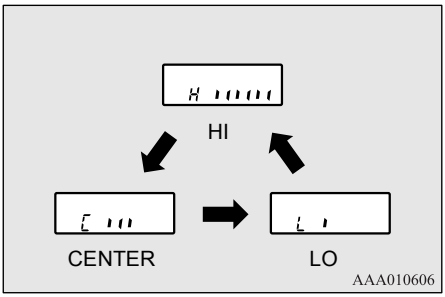
⚠注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 音質調整

J01102500016

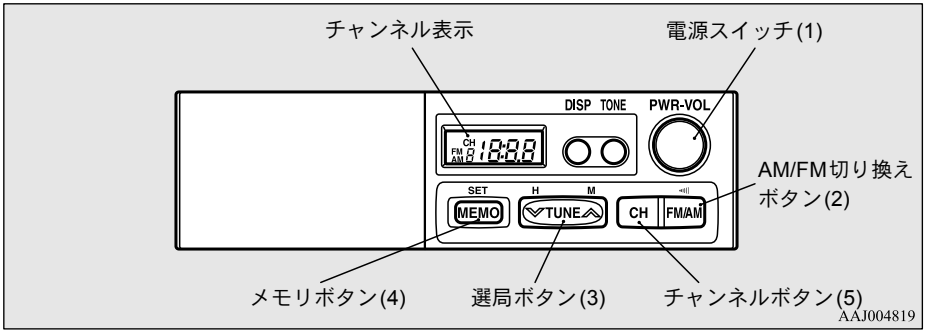
高音域の強弱を3段階に調整できます。
音質調整ボタン (2) を押すごとに HI（強）→ CENTER（中）→ LO（弱）と切り換わり，表示窓に調整状態が表示されます。



10

ラジオを聞くときは

J01100500113



1. 電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. AM/FM 切り換えボタン (2) を押します。
   ボタンを押すたびに AM↔FM と切り換わり，表示窓に受信バンドと周波数を表示します。
3. 選局ボタン (3) を押して聞きたい放送局を選びます。

◆ 放送局を選局するときは

J01103500101

手動で選局するときは

選局ボタン(3)を押します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは
  ∧側
- 周波数の低いほうへ選局するときは
  ∨側

自動で選局するときは

選局ボタン (3) を約 1 秒以上押し続けます。

- 周波数の高いほうへ選局するときは
  ∧側
- 周波数の低いほうへ選局するときは
  ∨側

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。
- すべてのAM/FM放送をモノラルで受信します。

◆ 放送局を記憶させるときは

J01103600203

AM/FM 各 6 局を記憶させておくことができます。

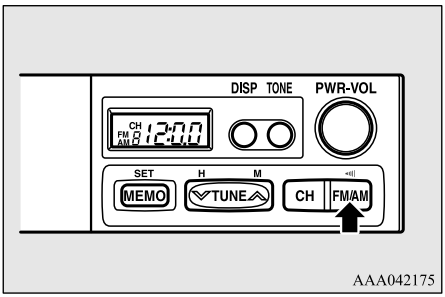
1. 選局ボタン (3) を押して記憶させたい放送局を受信します。
2. メモリボタン (4) を押すとチャンネル表示が点滅します。
3. チャンネルボタン (5) を押し，記憶させたいチャンネルを選びます。
4. 再びメモリボタン (4) を押したら完了です。
5. 次回からはチャンネルボタン (5) を押すごとにチャンネルが切り換わり，記憶されている放送局を受信します。

アドバイス

- バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

◆ 交通情報を聞くときは

J01103800159



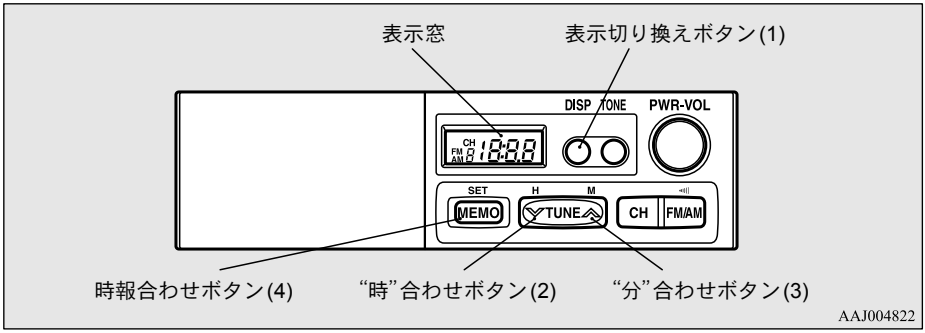
交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタンを約 2 秒以上押し続けると交通情報局(1620kHz)を受信します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に 1629kHz の交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。

時計を合わせるときは

J01113500175



周波数表示窓は通常時計表示となっています。
ラジオ使用時に表示切り換えボタン(1)を軽く押すと，周波数表示に切り換わります。
もう一度押すと時計表示になります。

◆ 時刻の合わせ方

J01113700047

1. 表示切り換えボタン (1) を押し続け時計表示を点滅させます。
2. 「時・分合わせ」
   “時”合わせボタン(2)，“分”合わせボタン(3)を押して時刻を合わせます。押し続けると早送りになります。
   “分”合わせボタンを押すたびに，秒数も00に修正されます。
   時刻を合わせたら，表示切り換えボタン(1)を押し 時計表示の点滅を解除します。
   「時報合わせ」
   時報合わせボタン (4) を押すと同時につぎのように修正されます。
   • 0～29分は切り下げ
   • 30～59分は切り上げ
3. セット後，時計表示の点滅は解除されます。

アドバイス

- バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。
- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると，時刻調整モードは解除されます。

表示を切り換えるときは

J01101500048

通常は，時計表示となっています。
ただし，ラジオの電源を入れたときや選局ボタン，メモリボタン，チャンネルボタン，交通情報ボタンを押したときは一時的に周波数表示に切り換わります。

ラジオ使用時に常に周波数表示にしておきたいときは，表示切り換えボタン(1)を軽く押してください。
もう一度押すと時計表示に戻ります。

ラジオの上手な使い方

J01102100269

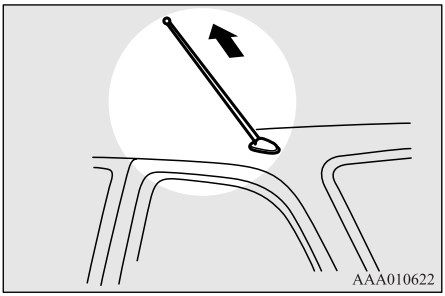
- エンジンを止めて聞くときは，必ずエンジンスイッチを ACC にしてください。
- 走行中は安全のため車外の音が聞こえる程度にしてください。
- 走行中は電波状態が変動するため，受信状態が不安定になることがあります。
- 車内で携帯電話を使用すると，ラジオから雑音が出ることがありますが，ラジオの故障ではありません。
  このときは，携帯電話をラジオからできるだけ離して使用してください。
- 万一の場合（異物が入った，水がかかった，煙が出る，変な匂いがするなど）は，ただちに使用を中止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。自分で修理しようとしたり，そのままご使用にならないでください。

アンテナ

タイプ別装備

J01102200198

ラジオを聞くときはアンテナをいっぱいに伸ばしてからお聞きください。



アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを格納してください。
  - 立体駐車場など天井の低い所へ入るとき
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき

10

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

エンジンオイルの補給 11- 2
燃料噴射装置の洗浄 11- 2
ウォッシャー液の点検･補給 11- 3
ブレーキ液タンク 11- 3
タイヤメンテナンス 11- 4
エアフィルターの清掃 11- 5

車のお手入れ

内装品のお手入れ 11- 6
外装品のお手入れ 11- 7

エンジンオイルの補給

J01200100152

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱純正エンジンオイルまたはオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。
→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-8
→「エンジンオイルの銘柄」P. 15-2

ILSAC認証マーク

AAA005581

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 外気温が低いときに，エンジンオイル注入キャップおよび注入口の内側にエンジンオイルが白いクリーム状になって付着することがあります。
  これは，エンジン内部の水蒸気が冷やされて水滴となり，エンジンオイルと混ざることにより発生するもので，外気温の上昇，エンジンの暖機が進むことにより水分は蒸発し解消します。
  この現象によるエンジンオイルの変質はなく，そのまま使用しても問題はありません。

燃料噴射装置の洗浄

J01200800205

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

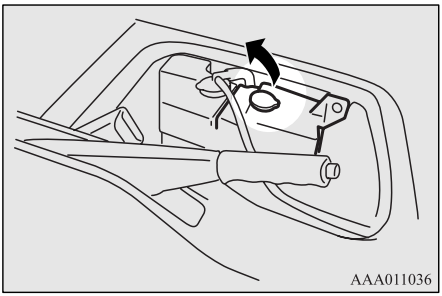
アドバイス

- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000kmまたは1年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200179

タンク内の液面の位置で液量を点検します。タンクは助手席シートの下にあります。点検するときは，助手席シートを操作して行います。
→「エンジン点検口」P. 4-10



ウォッシャー液が不足している場合は，三菱純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

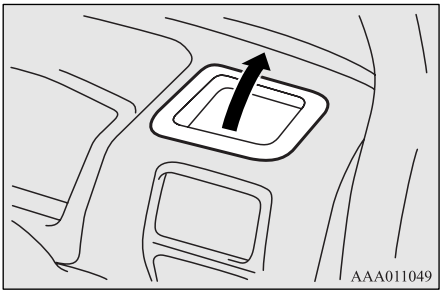
アドバイス

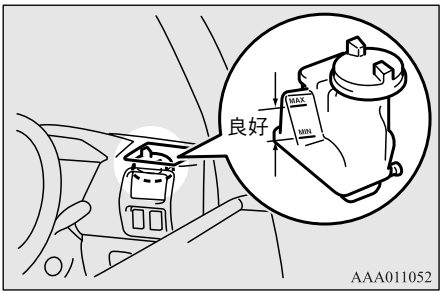
- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

ブレーキ液タンク

J01200300024

運転席側インストルメントパネル上部のフタを開けてブレーキ液の量を点検してください。





アドバイス

- ブレーキ液の量の点検，補給方法は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤメンテナンス

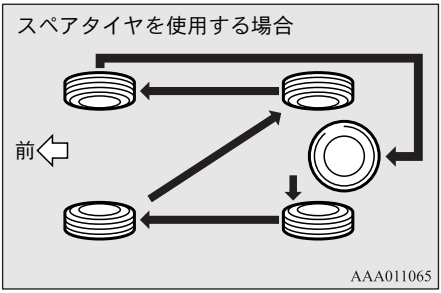
J01202100143

タイヤローテーション

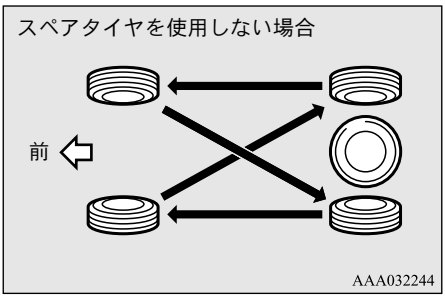
J01202400087

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

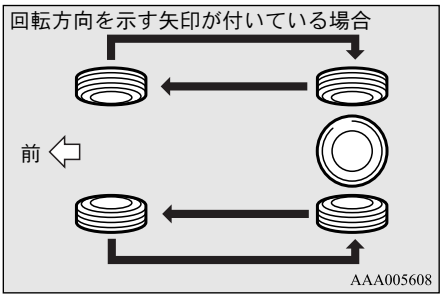
スペアタイヤを使用する場合



スペアタイヤを使用しない場合

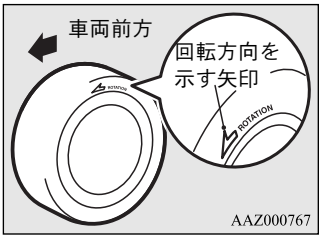


回転方向を示す矢印が付いている場合



⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

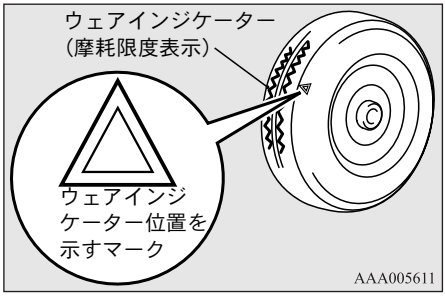


- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500017

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600018

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 15-10

⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

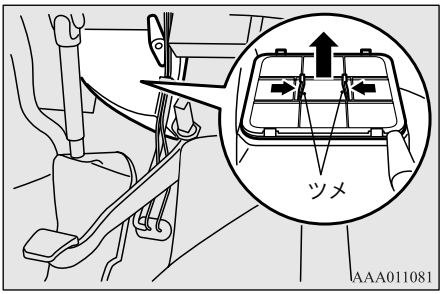
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

エアフィルターの清掃

J01201800013

エアフィルターは運転席足元にあります。



1. ツメを内側に押さえながらフィルターを取り外します。
2. 掃除機などで大きなほこりを取り除いた後，水洗いします。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。
4. フィルターの裏表に注意して，ツメを内側に押さえながらフィルターを取り付けます。

⚠注意

- エアフィルターを取り外したり取り付けたりするときに，けがをしないように注意してください。

アドバイス

- エアフィルターを装着せずにヒーター・エアコンを使用しないでください。故障の原因となる事があります。

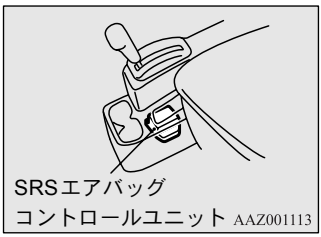
内装品のお手入れ

J01200600463

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- SRS エアバッグ付き車は，車内を直接水洗いすることはできるだけしないでください。やむを得ず洗車をする場合は，SRS エアバッグコントロールユニットおよびその周辺に水がかからないように行ってください。
  SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。



SRSエアバッグ
コントロールユニット AAZ001113

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

外装品のお手入れ

J01200700884

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下回りやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800065

1. 水をかけながら，車体の下回りを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. セーム皮か柔らかい布で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下回りを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがありますので，使用はできるだけひかえてください。
  とくに濃彩色車やメタリック車はスリ傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約40cm以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約60cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，アンテナおよびドアミラーを格納してください。

ワックスのかけ方

J01202900066

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  とくに濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色ムラなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000051

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。

ワイパーのお手入れ

J01201100032

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500023

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，シミ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

塗装の補修

J01201700012

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

MEMO

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 12- 2
走行前の点検. 12- 3
雪道, 凍結路の走行 12- 4
寒冷地での駐車. 12- 5
タイヤチェーン. 12- 5

冬期前の点検と準備

J01300100632

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P.15-3
冬期はエンジンオイルの劣化が早くなります。冬期に市街地走行や短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）で走行するときは，通常より早めに交換してください。

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り替えるときは，4輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-16
地域によってはタイヤチェーン，冬用タイヤの装着が条例で義務づけられています。地域の条例に従ってください。

燃料タンクの水抜き

タンク内の水分を除去するときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 市販の水分除去剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  また，寒冷時には水分が凍結するおそれがありますので，寒くなる前にご使用ください。

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300200095

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-8
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足回りにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドア回りのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドルの確認

ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300298

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを後輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下回りを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400286

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，マニュアル車はシフトレバーを❶または㊡に，オートマチック車はセレクターレバーを㊢に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300700609

後輪駆動車ですので，タイヤチェーンは後輪に取り付けてください。
4WD車も後輪駆動を主とした四輪駆動なので，タイヤチェーンは後輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは前輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。
- 車体の端部などで手にけがをしないように作業してください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

MEMO

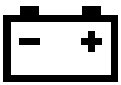
もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 13- 2
こんな音が聞こえたときは! 13- 4
こんなことでお困りのときは! 13- 5
故障したときは！ 13- 8
発炎筒を使うときは！ 13- 9
工具とジャッキ, ジャッキハンドル 13- 9
ジャッキアップのしかた. 13- 12
スペアタイヤ. 13- 14
タイヤ交換のしかた 13- 16
バッテリー上がりのときは！ 13- 20
オーバーヒートしたときは！ 13- 23
けん引 13- 24
バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！ 13- 27
ヒューズが切れたときは！ 13- 28

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100532

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-8

安全な場所に停車し，まずお車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-7		油圧警告灯	P. 6-8

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯または点滅しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯または点滅するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	ABS警告灯	P. 7-24

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

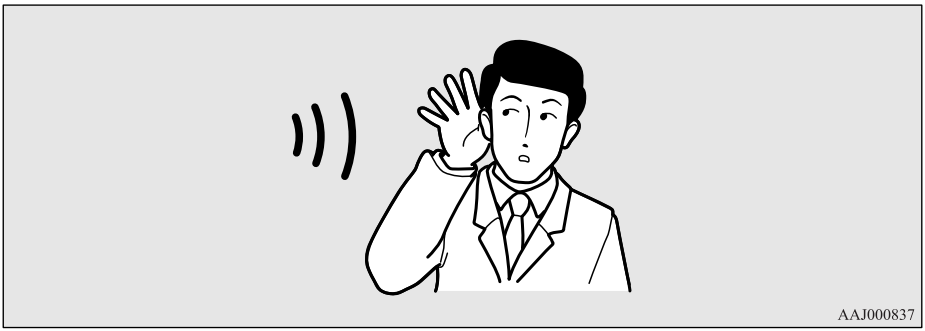
SRS	SRSエアバッグ／プリテンショナー警告灯	P. 5-13		エンジン警告灯	P. 6-8

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P. 5-6		燃料残量警告灯	P. 6-5

こんな音が聞こえたときは!

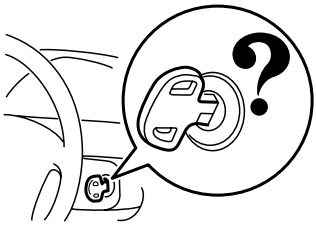
J01400200269

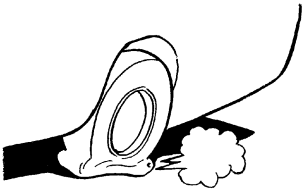
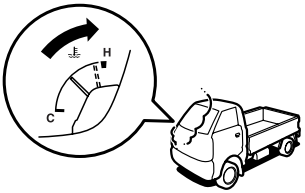


現象	処置
運転席ドアを開けたら断続的に音(ピピッ, ピピッ)がする。	「キー抜き忘れ防止機構」→ P. 4-3 キーを抜き忘れています。 エンジンスイッチからキーを抜くと, ブザーは止まります。
運転席ドアを開けたら音(ピー)がする。	「ヘッドライトオートカット機能(自動消灯)」 → P. 6-9 ライト類を消し忘れています。 ライト類が自動的に消灯し, ブザーは止まります。 (ただし, ライトスイッチをいったん o (OFF)位置から ≡◯◯≡位置にするとライトは自動消灯せず, ドアを閉じるまでブザーは鳴り続けます。
車を後退しようとしたら, 断続的に音(ピーピー)がする。	「セレクターレバーの位置・働き」→ P. 7-13 セレクターレバーがⓇに入っています。 後退後, セレクターレバーの位置を変えればブザーは止まります。

こんなことでお困りのときは!

J01400300781

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-9
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み, ハンドルを強く操作してください。 「走行中にエンストしたときは」→ P. 2-13
キーが回らない。 	**LOCKからACCに回らない** ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** 〔オートマチック車〕 セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 〔マニュアル車〕 ACCの位置でキーを押しながら, LOCKまで回してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-6
セレクターレバーがⓅから動かない。(オートマチック車)	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 7-11
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」 → P. 9-8

現象	処置
パンクした。 	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-16
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-20
水温計の指針が「H」表示部に近づいている。 エンジンルームから蒸気が出ている。 	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-23

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。そして, ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 2. 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。 3. タイヤが空回りして車が動かないときは, アクセルペダルを軽く踏み, 駐車ブレーキを軽く引いたまま脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは, むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み, かえって脱出しにくくなります。また, エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは, 専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスミッションが変速しない。 発進時の出足が鈍い。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの三菱自動車販売会社まで運転し, 点検を受けてください。 発進しにくいときは❷に入れて発進し, その後は❹に戻して走行してください。 (故障の内容によってはこの方法でも効果がないときもあります。)

故障したときは！

J01400400405

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，シフトレバー（セレクターレバー）をⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- マニュアル車，オートマチック車ともエンジンスイッチをSTARTの位置で保持して，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

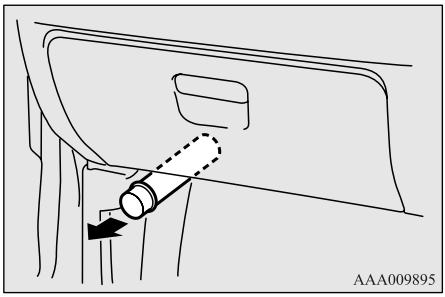
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500275

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。



⚠警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-12
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ，ジャッキハンドル

J01400600612

⚠注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

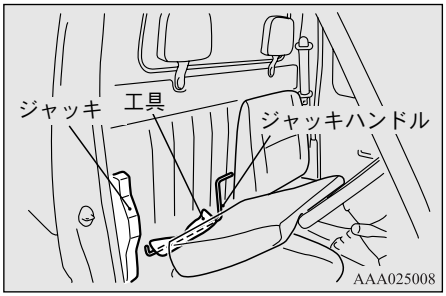
アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

J01405800156

工具とジャッキハンドルは運転席シートの後ろに，ジャッキは運転席シートの横に格納されています。

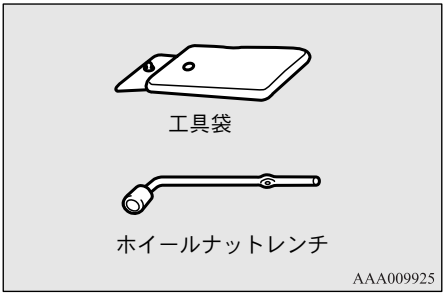


⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300053

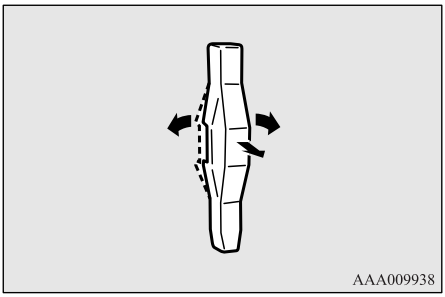


ジャッキの脱着

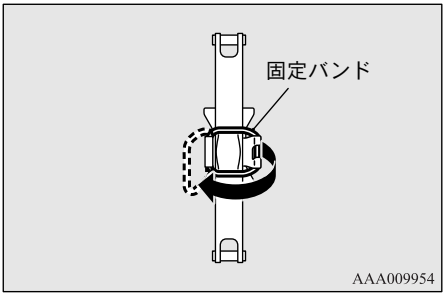
J01404200140

◆ 取り出すときは

1. ジャッキカバーをひろげながら取り外します。

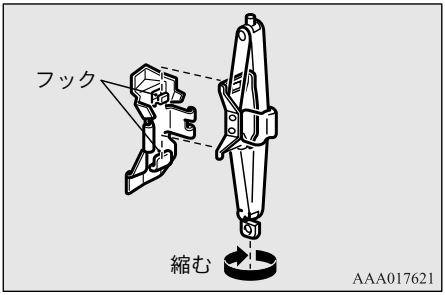


2. 固定バンドを外してジャッキを取り出します。

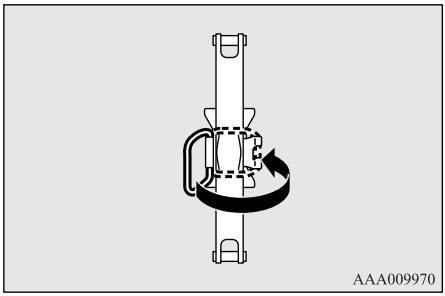


◆ 格納するときは

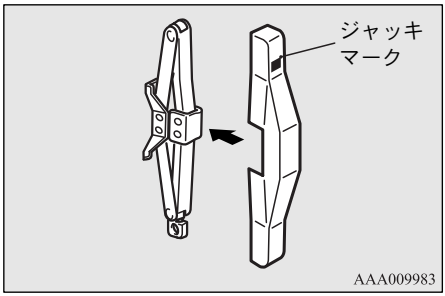
1. ジャッキを縮めてブラケットのフックにかけます。



2. 固定バンドで固定します。



3. ジャッキマークが付いている側を上にして，ジャッキカバーを確実に取り付けます。



アドバイス

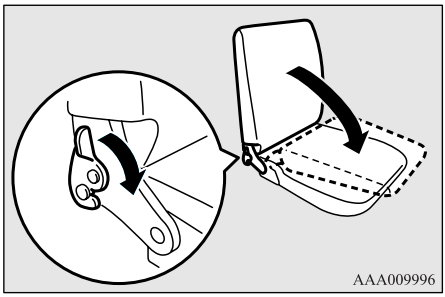
- ジャッキを格納した後は，ジャッキが確実に固定されていることを確かめてください。

工具とジャッキハンドルの脱着

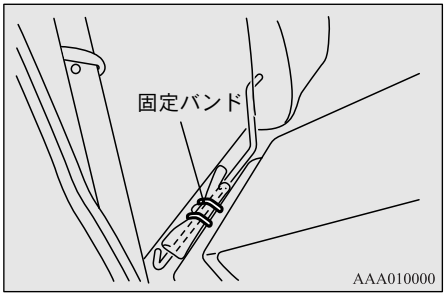
J01405700012

◆ 取り出すときは

1. 運転席シートのレバーを前へ押して背もたれを前に倒します。



2. 固定バンドを外し取り出します。



◆ 格納するときは

取り出すときの逆の手順で行います。

ジャッキアップのしかた

J01400700990

⚠警告

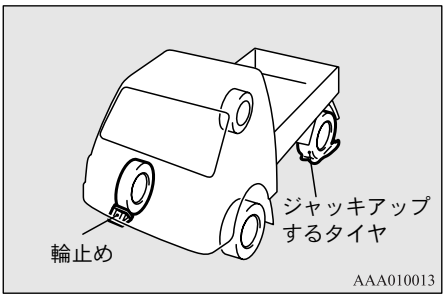
● ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一，ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

● ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンをかけたままにしない。
- 人や荷物を乗せたままにしない。
- 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
- 凍結した路面では使用しない。
- ジャッキの上や下に物をはさまない。
- ジャッキアップ中に車をゆすらない。
- ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
- ジャッキアップしたまま放置しない。

ジャッキアップするときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。
   オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。
   - 前輪のときは後輪の後ろ側
   - 後輪のときは前輪の前側



⚠注意

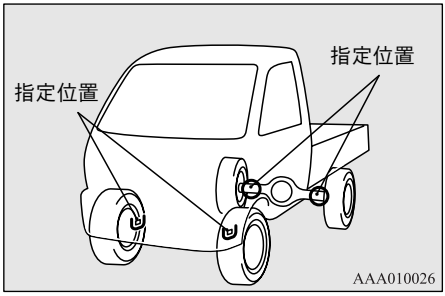
● ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

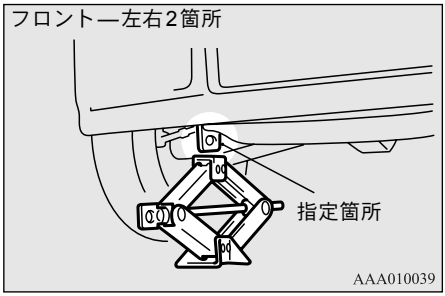
アドバイス

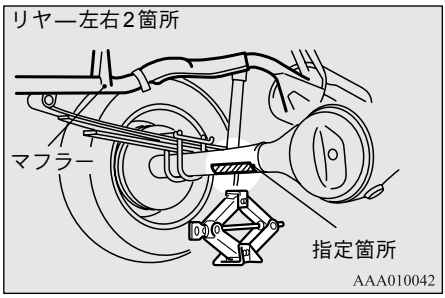
● 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。

6. ジャッキとジャッキハンドルを取り出します。
   →「ジャッキの脱着」P. 13-10
   →「工具とジャッキ，ジャッキハンドル：格納場所」P. 13-9
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

指定位置







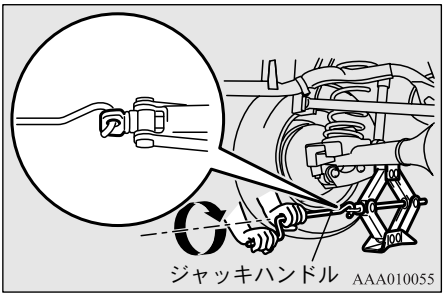
⚠注意

● マフラーが熱いことがありますのでやけどしないように作業してください。

⚠警告

● ジャッキをセットするときは，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. ジャッキ頭部がジャッキ指定位置に当たる直前まで，ジャッキを手で右に回して上げます。
9. ジャッキハンドルを使用してジャッキを伸ばし，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドルを回します。



⚠注意

● 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

降ろすときは

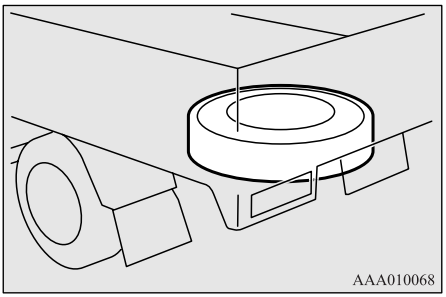
1. ジャッキ頭部がジャッキ指定位置から外れるまで，静かにジャッキハンドルを回します。
2. ジャッキを左に回して縮めます。
3. ジャッキとジャッキハンドルを元の位置に戻します。→「工具とジャッキ，ジャッキハンドルの脱着」P. 13-10

スペアタイヤ

J01400800467

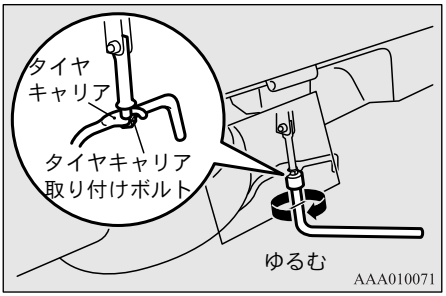
格納場所

スペアタイヤは，荷台床下部に格納されています。

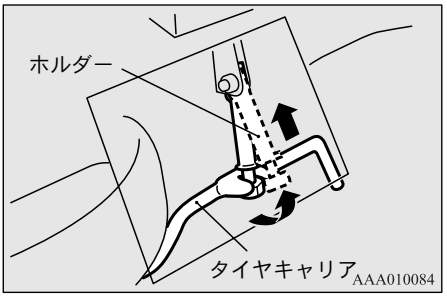


取り出すときは

1. ホイールナットレンチを取り出します。
   →「格納場所」P. 13-9
2. ホイールナットレンチを使用して，タイヤキャリア取り付けボルトをゆるめます。

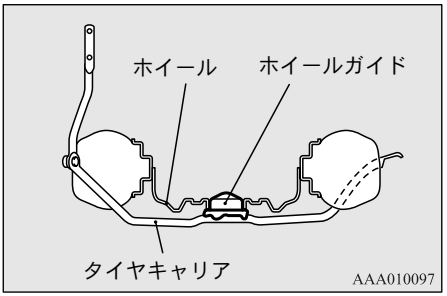


3. タイヤキャリアを持ち上げてホルダーから外し，下に降ろしてタイヤを取り出します。

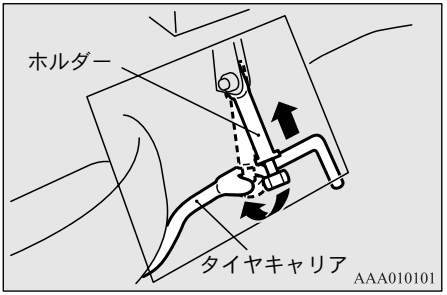


格納するときは

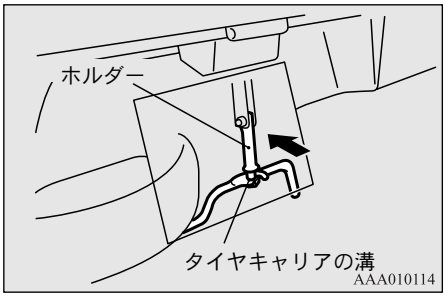
1. ホイールの表側を下にしてホイール中央の穴をタイヤキャリアのホイールガイドに確実にはめます。



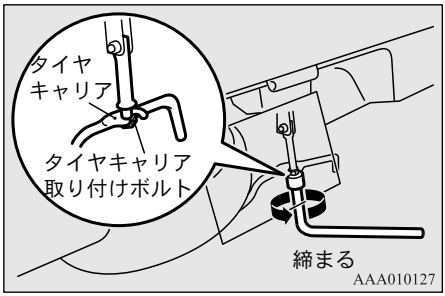
2. タイヤキャリアを持ち上げてホルダーにかけます。



3. タイヤキャリアの溝にホルダーをいっぱいまで入れます。



4. ホイールナットレンチを使用して，タイヤキャリア取り付けボルトを確実に締め付けます。



⚠注意

- スペアタイヤを格納した後は，タイヤキャリアが確実に固定されていることを確認してください。タイヤキャリアが固定されていないと走行中に脱落して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホルダーからタイヤキャリアを外すとき，またはかけるときは，キャリアを足の上などに落とさないよう確実にタイヤキャリアを持って行ってください。

アドバイス

- スペアタイヤを手，または足でゆすってがたつかないことを確認してください。がたついているときはキャリアやホルダーの変形などが考えられますので，トラックは荷台（パネルバンは荷室）に保管し，三菱自動車販売会社で修理を受けてください。

タイヤ交換のしかた

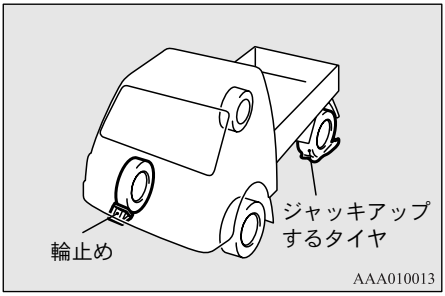
J01400901087

⚠注意

● ホイールの穴などに手をかけると，エッジでけがをするおそれがありますので手袋などをご使用ください。

タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。
   オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。
   • 前輪のときは後輪の後ろ側
   • 後輪のときは前輪の前側



⚠注意

● ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

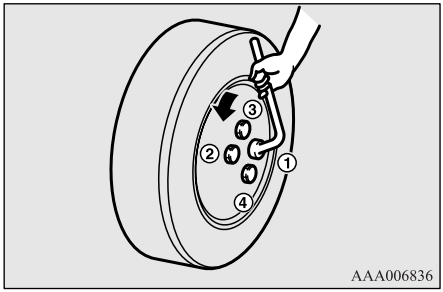
● 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
● 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。
→「スペアタイヤ」P. 13-14
→「工具とジャッキ，ジャッキハンドル：格納場所」P. 13-9

アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。

7. 交換するタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。
→「ジャッキアップのしかた」P. 13-12
8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。



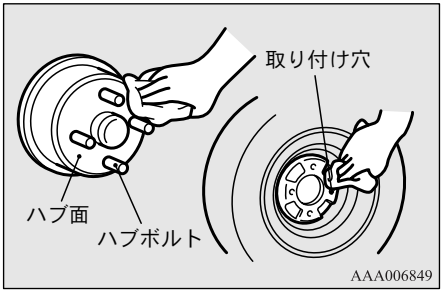
9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

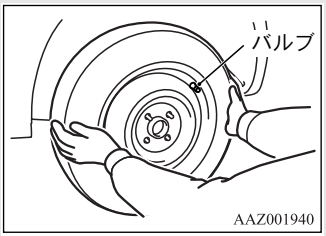
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



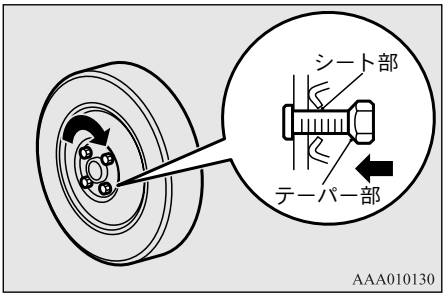
2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

● タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。



3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。
ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

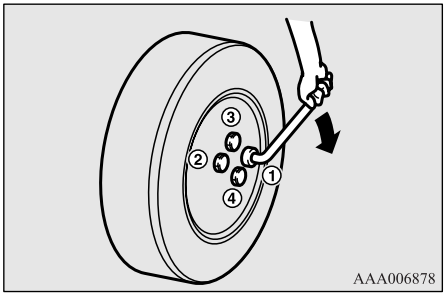


⚠注意

● ハブボルト，ホイールナットには油を塗らないでください。
ネジ部，ホイールなどの損傷の原因になります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク：90~110N•m
{9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で360~430N｛36~43kgf｝の力）



⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 15-10
6. 工具とジャッキ，ジャッキハンドルを元の位置に戻します。
→「工具とジャッキ，ジャッキハンドルの脱着」P. 13-10
7. 交換したタイヤをスペアタイヤキャリアに取り付けます。
→「スペアタイヤ」P. 13-14

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

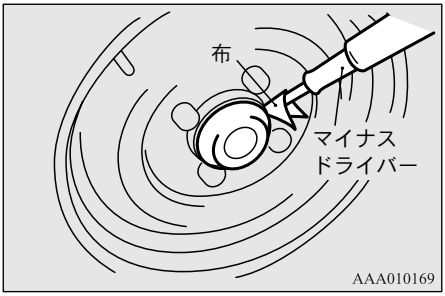
- タイヤ交換したときは，約1,000km走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

センターキャップ

J01402900013

◆ 取り外すときは

ドライバー（市販品）の先に布をかぶせてホイールとセンターキャップの間に差し込み，タイヤ側にこじてセンターキャップを取り外します。



◆ 取り付けるとき

センターキャップを手でたたき取り付けます。

バッテリー上がりのときは！

J01401000785

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴っても いつもより音が小さい。

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

● 救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

アドバイス

- バッテリーは車体左の荷台下にあります。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを(N)，オートマチック車はセレクターレバーを(P)に入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。**
- **冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。**

4. バッテリー液量を確認します。

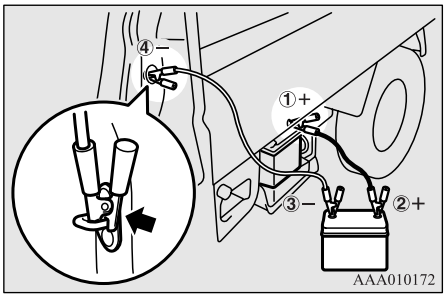
⚠警告

- **バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。**

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）



⚠警告

- **接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。**
- **④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの―端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。**
- **ブースターケーブルを接続するときは，＋と―端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。**

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- **バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。**
- **充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。**
- **周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。**
- **充電するときは，すべてのキャップを取り外してください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。**

⚠注意

- 押しがけやけん引により，エンジンをかけることは行わないでください。
  特にオートマチック車は，マニュアル車と構造が異なるため，この方法ではエンジンはかかりません。

アドバイス

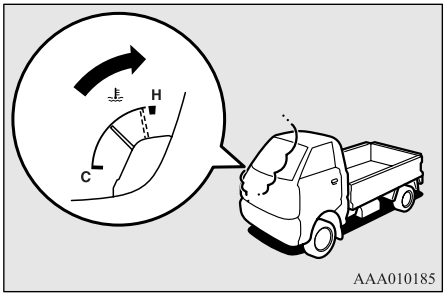
- ABS 装着車は充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告灯が点灯したときは」P. 7-25

オーバーヒートしたときは！

J01401100715

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 水温計の指針が「H」表示部に近づいたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジン点検口を開け，エンジンルームの風通しをよくします。

   [蒸気が出ているとき]
   エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，エンジンルームの風通しをよくするためにエンジン点検口を開け，エンジンをかけます。
   →「エンジン点検口」P. 4-10

⚠警告

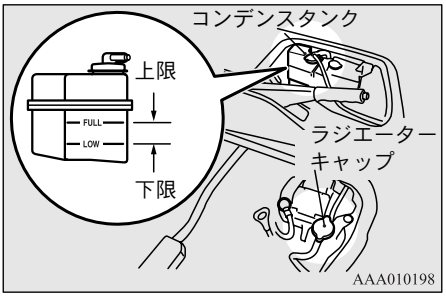
- **エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジン点検口を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジン点検口を開けるときは注意してください。**
- **冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。**

3. 水温計の指針が下がってきたら，エンジンを止めます。

アドバイス

- 水温計の指針が下がらないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. エンジンが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。



⚠警告

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
  冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401200745

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

⚠注意

- 2WD 車で駆動系部品が故障したと思われるときは，必ず駆動輪（後輪）を持ち上げてけん引してください。
- 4WD車は，必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。
  4WD（4 輪駆動）のまま，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
  →「イージーセレクト 4WD」P. 7-17
- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや，駆動系部品が故障したと思われるときは，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。
- オートマチック車で，駆動輪（後輪）だけを接地してけん引するときの速度は 30km/h 以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を越えると，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

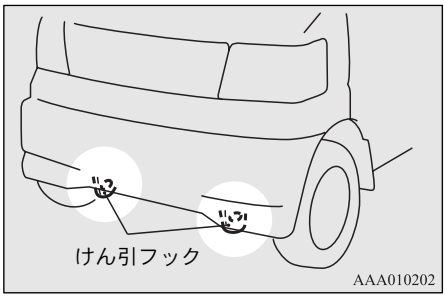
やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領で行ってください。

他車にけん引してもらうとき

J01403900717

⚠注意

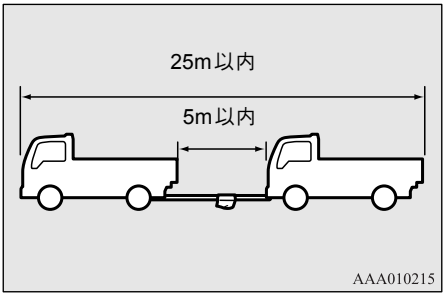
- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。



アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体などを傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして，けん引してください。
- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて，斜めけん引とならないようにしてください。

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。
2. けん引ロープには，30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



3. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ACC または ON にします。

⚠注意

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。また，ハンドル操作が非常に重くなります。
- エンジンスイッチが LOCK 位置ではキーが抜けるおそれがあります。キーが抜けるとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

4. シフトレバー（セレクターレバー）を Ⓝ に入れます。
5. 4WD車は4WD切り換えスイッチを押して「2WD」にしてください。
   →「4WD 切り換えスイッチ」P. 7-18
   メーター内の 4WD 作動表示灯が消灯したのを確認してください。
   →「4WD 作動表示灯」P. 7-19

⚠注意

- 4WD車は，必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。
  4WD（4輪駆動）のまま，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷するおそれがあります。
  →「イージーセレクト4WD」P. 7-17
- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや，駆動系部品が故障したと思われるときは，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。

6. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 6-12

⚠警告

● けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。
  万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり，重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂では，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。
- オートマチック 車をけん引するときの速度は30 km/h以下，けん引される距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えると，トランスミッションの故障の原因になります。

他車のけん引

J01404100051

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！

J01401400200

エンジン回転数が不安定になったときは，つぎの方法でエンジンの初期調整操作を行ってください。

1. 安全な場所に車を止めます。
2. マニュアル車はシフトレバーを Ⓝ に，オートマチック車はセレクターレバーを Ⓟ に入れて，エンジンを止めます。
3. 再度，エンジンを始動します。
4. エアコンのすべての作動を停止します。
5. 水温計の中間近くで指針が安定するまで暖機運転します。
6. エンジンを一旦停止し，再度エンジンを始動します。
7. 約10分間アイドリングします。
8. エンジン回転数が安定すれば初期調整操作は終了です。

アドバイス

- エンジンの初期調整操作を行ってもエンジン回転数が安定しないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヒューズが切れたときは！

J01401500793

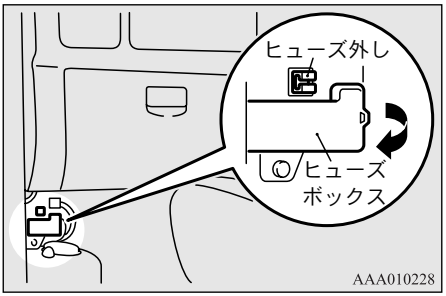
各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがあります。ヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

アドバイス

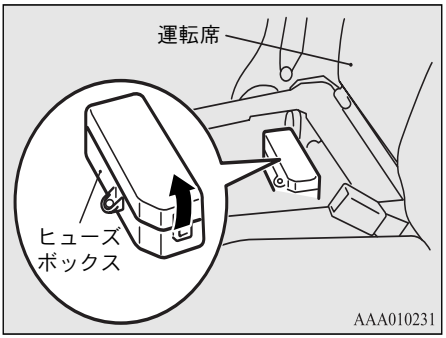
- 予備ヒューズは装備されておりません。三菱自動車販売会社などでお買い求めください。

ヒューズボックスの位置

◆ グローブボックス下側



◆ エンジンルーム内



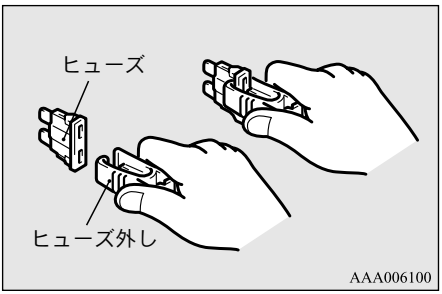
ヒューズの交換

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-30

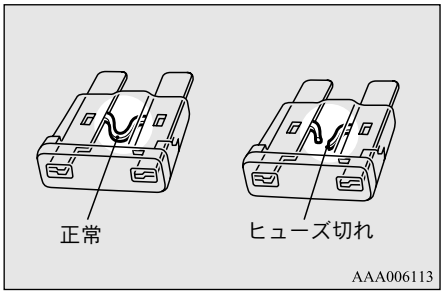
アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備・容量は，ヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。



4. ヒューズを点検し，切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。緊急でスペアヒューズがないときは運転に影響のないラジオやシガレットライターなどのヒューズを代用してください。
   なお，ヒューズを代用したときは，なるべく早く新しいヒューズを補給してください。



⚠警告

● 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。

アドバイス

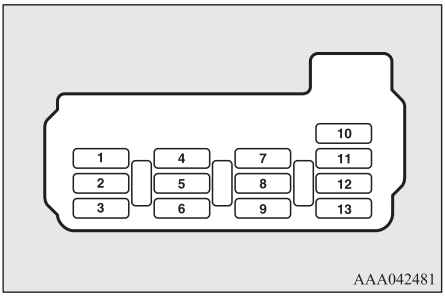
- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403700933

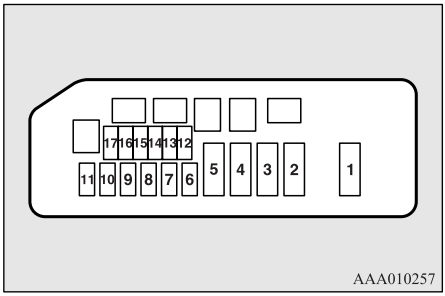
- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

◆ グローブボックス下側



NO.	表示	装備	容量
1		ドアロック	20A
2		室内灯（ルームランプ）	10A
3		ワイパー	15A
4		ヒーター	20A
5	—	—	—
6		デフォッガー	15A
7		シガレットライター	15A
8		後退灯（バックアップランプ）	10A
9		尾灯（テールランプ）	10A
10		サンルーフ	20A
11		コントロールユニットリレー	10A
12		ラジオ	10A
13		メーター	10A

◆ エンジンルーム内



NO.	表示	装備	容量
1	(ABS)	ABS	60A
2		イグニッション スイッチ	40A
3		バッテリー	40A
4		ラジエーターファン モーター	30A
5		パワーウインドウ	30A
6		フロントフォグ ランプ	15A
7		エアコン コンプレッサー	15A
8		非常点滅灯	10A
9		エンジン コントロール	20A
10	STOP	制動灯 (ストップランプ)	10A
11		リヤヒーター	15A
		ダンプ	10A
12		ホーン	10A
13		ヘッドライト (下向き) (左)	10A
14		ヘッドライト (下向き) (右)	10A
15		ヘッドライト (上向き) (左)	10A
16		ヘッドライト (上向き) (右)	10A
17		ラジオ	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

MEMO

楽床ダンプの取り扱い

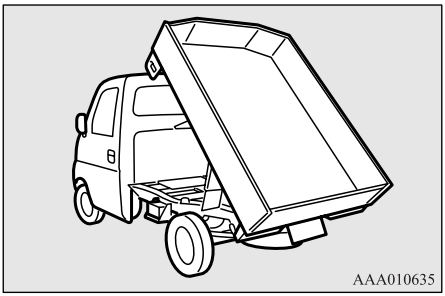
作業を始める前に 14- 2
ダンプスイッチ 14- 2
荷台を操作するときは 14- 3
荷台を上げたままにするときは 14- 4

作業を始める前に

J01500100038

つぎのことを点検してください。

- 車を止めた場所にオイルの漏れた跡がないか点検します。
- 車のまわりに人がいないことを確認します。
- ダンプスイッチを操作して荷台が正常に上昇，下降することを確認します。
- 荷台を上げた状態でダンプ機構各部よりオイルの漏れがないか点検します。



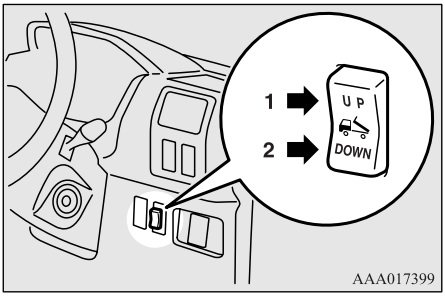
アドバイス

- ダンプの作動不良，オイル漏れ等あれば三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- オイルは，指定のものを使用してください。指定以外のものを使用すると荷台の作動速度が変わったり，故障の原因になります。

ダンプスイッチ

J01500200026

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。



1- 上がる
2- 下がる

⚠警告

- **車から離れるときは，事故を未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。**
- **荷台を昇降させるときは，周囲の安全をよく確認し，昇降中の荷台に近づいたり，車体に手を触れたりしないでください。**
- **上げた荷台の下には入らないでください。**

⚠注意

- 長時間荷台を上げたまま走行したり，放置しないでください。

アドバイス

- 荷台を昇降させるときはエンジンをかけてください。
  エンジンがかかっていないときに操作するとバッテリーが上がることがあります。

荷台を操作するときは

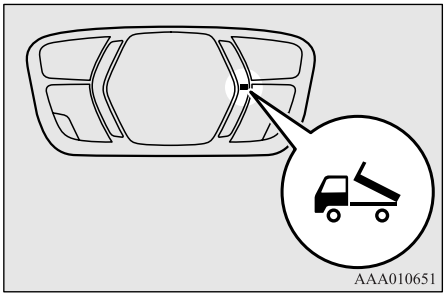
J01500300027

1. 平らで硬い場所に車を止め，駐車ブレーキを十分にかけます。

⚠警告

● 傾斜地や柔らかい場所では横転のおそれがあります。また，各部のねじれにより故障の原因となります。

2. 荷台を上げるときはリヤゲートを開けます。
   →「リヤゲート」P. 4-6
3. メーター内のダンプ作動表示灯が点灯するまでダンプスイッチのUP側(1)またはDOWN側(2)を押します。
   →「ダンプスイッチ」P. 14-2



ダンプ作動表示灯が点灯したら一旦スイッチから手を離し，再度スイッチを操作します。

4. スイッチのUP側(1)を押している間荷台が上昇します。
   スイッチのDOWN側(2)を押している間荷台が下降します。
   →「ダンプスイッチ」P. 14-2
   荷台の作動中はダンプ作動表示灯が点滅します。
   途中で止めたいときは，スイッチから手を離します。

アドバイス

- スイッチのUP側またはDOWN側のいづれか一方向を約 30 秒以上押し続けたり，約30秒以上スイッチを操作しないとダンプ作動表示灯が消灯し，荷台の作動が停止します。
  再度作動させたいときは，もう一度 3. と 4. の操作をしてください。
- 荷台が完全に上昇した後はスイッチを押し続けないでください。故障の原因となります。
  完全に上昇すると作動音が変わります。

5. 荷台を下げた後はリヤゲートを閉めます。
   →「リヤゲート」P. 4-6

アドバイス

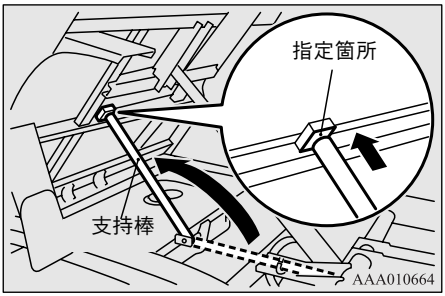
- 走行する前に荷台が完全に降りていることを確認してください。
- 積荷は左右均一となるように載せてください。
  積荷がかたよった状態で操作すると故障の原因となります。
- 下降中の荷台を急上昇させたり，上昇中の荷台を急降下させたりすると故障の原因になります。

荷台を上げたままにするときは

J01500400028

洗車や点検などで荷台を上げたままにするときは，つぎの処置をしてください。

1. 荷台に積荷がないことを確認します。
2. 駐車ブレーキを十分にかけ，輪止めをします。
3. 荷台を上げて，支持棒をセットします。



⚠注意

- 支持棒は指定箇所へ確実にセットしてください。

サービスデータ

メンテナンスデータ 15- 2
タイヤ, ホイールのサイズ 15- 8
タイヤの空気圧 15- 10

15

メンテナンスデータ

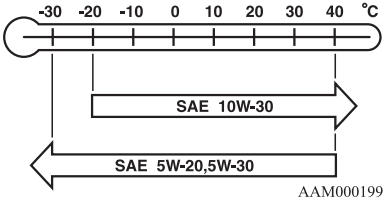
J01600101225

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

容量	使用銘柄
約40L	無鉛レギュラーガソリン ● 燃料は指定されたものを補給してください。→P. 2-2

オイル類の量と種類

項目	容量	使用銘柄			
		三菱自動車純正銘柄	API分類	ILSAC規格	SAE粘度番号
エンジンオイル	約3.2L（オイルフィルター内約0.2L を含む）	ダイヤクイーンSM	SM	GF-4	5W—30
			SM/CF		10W—30
		ダイヤクイーンSLスーパー	SL相当	—	5W—20 10W—30
		ダイヤクイーンSJ	SJ相当/CF	—	10W—30
		● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。 			

15

アドバイス

- 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

項目			容量	使用銘柄
マニュアルトランスミッションオイル		2WD車	約0.8L	三菱純正ダイヤクイーンニューマルチギヤオイルSAE 75W-80 (GL-3) または 三菱純正ダイヤクイーンマルチギヤオイル75W-85W (GL-4)
		4WD車	約1.8L[*1]	
オートマチックトランスミッションオイル			約3.2L	三菱純正ダイヤクイーンATF　SPIII
トランスファーオイル(4WD車)		A/T車	約0.7L	三菱純正ダイヤクイーンニューマルチギヤオイルSAE 75W-80 (GL-3) または 三菱純正ダイヤクイーンマルチギヤオイル75W-85W (GL-4)
ディファレンシャルオイル	フロント		約0.8L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイルSAE80 (GL-5)
	リヤ	除く，LSD付き車	約1.1L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイルSAE90 (GL-5)
		LSD付き車	約1.1L	三菱純正ダイヤクイーン LSDギヤオイル
ダンプオイル			約2.0L	三菱純正ダイヤモンド ハイドロリックオイル EP46
パワーステアリングオイル			約0.8L	三菱純正ダイヤクイーン パワステフルード
ブレーキ液			所要	三菱純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー4 (DOT4)

[*1]：トランスファーオイルを含む

2WD車：後輪駆動車

4WD車：4輪駆動車

A/T車：オートマチック車

LSD：リミテッドスリップディファレンシャル

冷却水の量と種類

項目	容量	使用銘柄
冷却水	約5.5L[*2]	三菱純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント

[*2]：コンデンスタンク内約0.5Lを含む

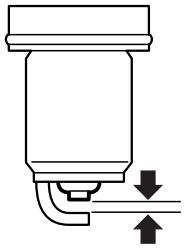
ウォッシャー液の量と種類

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約1.9L	三菱純正ウインドウウォッシャー液

点火プラグの種類

使用銘柄	電極部のすきま
NGK：日本特殊陶業製：ZFR6F-11 DENSO：デンソー製：KJ20CR-U11	1.0~1.1mm

拡大図（電極部のすきま）



AAM000203

● 点火プラグの点検, 交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

15

バッテリーの種類

項目	形式
除く, 寒冷地仕様車	34B19L
寒冷地仕様車	42B19L

⚠警告

- **バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。**
- **バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。**

アドバイス

- バッテリー交換後は, エンジンやオートマチックトランスミッションなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になったり，シフトショックが発生する場合があります。
  エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
  →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは!」P. 13-27
  シフトショックは，数回変速をくり返せばスムーズに変速するようになります。
- バッテリー交換後は，お客様が設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは，それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

電球（バルブ）のワット数

＜車外照明＞

項目			ワット数(型式)
ヘッドライト			60/55W (H4)
車幅灯			5W (W5W)
制動灯／尾灯			21/5W (W21/5W)
後退灯			16W (W16W)
番号灯			5W (W5W)
方向指示灯	フロント	アンバー(橙色)レンズ付き車	21W (P21W)
		クリア(無色)レンズ付き車	21W (PY21W)
	サイド		5W (W5W)
	リヤ		16W (W16W)
ハイマウントストップランプ タイプ別装備			16W (W16W)
荷台作業灯 タイプ別装備			16W (W16W)

●( )内は電球（バルブ）の型式を示しています。

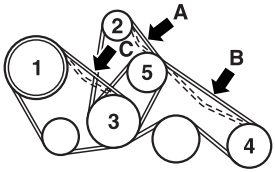
＜車内照明＞

項目	ワット数
ルームランプ〔室内灯〕	8W

アドバイス

● 電球を交換するときは，必ず同じワット(W)数，同じ電球色のものを使用してください。

整備基準値

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">サービスデータ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ブレーキペダル</td><td>遊び</td><td>3~8mm</td></tr>
<tr><td>踏み込んだときの床板とのすきま
(踏力 約500N{約50kgf})</td><td>230mm以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クラッチペダル</td><td>遊び</td><td>15~20mm</td></tr>
<tr><td>切れたときのフロントエンドパネルとのすきま</td><td>176mm以上</td></tr>
<tr><td>駐車ブレーキ</td><td>引きしろ(操作力 約200N{約20kgf})</td><td>3~4ノッチ</td></tr>
<tr><td>ベルトのたわみ量(ベルトの中央部を約100N{約10 kgf}の力で押す。)</td><td colspan="2">


1. エアコンコンプレッサープーリー
2. オルタネータープーリー
3. クランクシャフトプーリー
4. パワーステアリングポンププーリー
5. ウォーターポンププーリー
<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>新品ベルト装着時</th><th>中古ベルト組込時および使用ベルト張り直し時</th><th>使用中ベルト張り点検時</th></tr>
<tr><td>A</td><td>オルタネーターベルト用</td><td>5.2~7.3mm</td><td>8.0~9.6mm</td><td>7.3~10.5mm</td></tr>
<tr><td>B</td><td>パワーステアリングポンプ用</td><td>11.2~15.3mm</td><td>15.3~17.9mm</td><td>14.1~19.4mm</td></tr>
<tr><td>C</td><td>エアコンコンプレッサー用</td><td>8.0~9.5mm</td><td>9.0~10.5mm</td><td>9.0~10.5mm</td></tr>
</table>
● ベルトの張り調整, 交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。
</td></tr>
</table>

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201082

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。
- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  タイヤおよびホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。
  交換するときは装着してある元のタイヤと同じサイズのタイヤを使用してください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット量が同じでも，車体に干渉したり，強度が不足して使えないことがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

標準トラック

タイヤ	ホイール	
145R12—6PRLT	12×3.50B (38mm) [100mm] 4穴	○
145R12—8PRLT	12×3.50B (38mm) [100mm] 4穴	▲

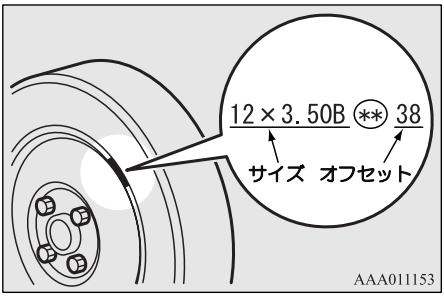
パネルバンおよび楽床ダンプ

タイヤ	ホイール
145R12—8PRLT	12×3.50B (38mm) [100mm] 4穴

15

○は，標準装備
▲は，使用可能なサイズ
( )内は，オフセット量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
[ ]内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）
冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

● 三菱純正ホイールのサイズおよびオフセットは，図の位置に表示されています。



タイヤの空気圧

J01600300767

タイヤサイズ	空気圧 (kPa {kgf/cm²})		
	前輪	後輪	
		2名＋100kg積載以下	定積載
145R12—6PRLT	200 {2.0}	240 {2.4}	350 {3.5}
145R12—8PRLT	220 {2.2}	260 {2.6}	400 {4.0}

定積載：2名乗車＋指定積載重量

→「安全なドライブのために：荷物を積むときは」P. 2-5

ア

アンチロックブレーキシステム（ABS） 7-23
アンテナ 10-12

イ

イージーセレクト4WD 7-17

ウ

ウインドウガラスのお手入れ 11-9
ウォッシャー
- ウォッシャー液 15-4
- ウォッシャー液の点検･補給 11-3
- ウォッシャースイッチ 6-14

エ

エアコン
- エアコンの上手な使い方 9-9
- エアフィルターの清掃 11-5
- 吹き出し口 9-2
- マニュアルエアコン 9-4

ABS 7-23
SRSエアバッグ 5-10
SRSエアバッグ/プリテンショナー機構警告灯 5-7, 5-13
エンジンオイル 15-2
- エンジンオイルの補給 11-2
- エンジンオイル量の点検･補給 M

エンジン型式 S
エンジン警告灯 6-8
エンジンスイッチ 7-5
エンジン点検口 4-10
エンジンのかけ方 7-7
エンジンの初期調整 13-27
エンジンブレーキ 2-10
エンジンルーム 1-8

オ

オイル 15-2
オーディオ
- AM/FM電子同調ラジオ(時計付き) 10-7
- AM電子同調ラジオ(時計付き) 10-2
- ラジオの上手な使い方 10-12

オートマチックトランスミッション 7-11
- オートマチック車の運転のしかた 7-14
- オートマチックトランスミッションオイル 15-3
- セレクターレバー 7-11

オーバーヒート 13-23
お手入れ
- 洗車 11-7
- 塗装の補修 11-9
- ワックス 11-8

オドメーター(積算距離計) 6-3

カ

外装品のお手入れ 11-7
ガソリン(燃料) 15-2
カップホルダー 8-5
寒冷時の取り扱い 12-2

キ

キー 4-2
キー付きロッカー 4-14
キックダウン 2-14

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ク

区間距離計(トリップメーター) 6-3
曇り取り
　ウインドウガラスの曇り取り 9-8
クラクション(ホーンスイッチ) 6-14
クリープ現象 2-14
クリーンエアフィルター 9-10
グローブボックス 8-5

ケ

警告灯 6-6, 6-7
　ABS警告灯 7-24
　SRSエアバッグ/プリテンショナー機構警告灯 5-7, 5-13
　エンジン警告灯 6-8
　シートベルト警告灯 5-6
　充電警告灯 6-8
　燃料残量警告灯 6-5
　ブレーキ警告灯 6-7
　油圧警告灯 6-8
けん引 13-24

コ

工具 13-9
後退灯 15-6

サ

サービスデータ 15-2
サイドアンダーミラー 7-4
サイドゲート(荷台) 4-8
サンバイザー 8-2

シ

シート 5-2
シートベルト 5-3
　3点式シートベルト 5-5
　シートベルト警告灯 5-6
　プリテンショナーシートベルト 5-6
シガレットライター 8-3
室内灯 8-4
シフトレバー 7-9
ジャッキ 13-9
ジャッキアップ 13-12
車幅灯 15-6
車両重量 S
車両寸法 S
充電警告灯 6-8
修理の連絡先 M
樹脂部品のお手入れ 11-9

ス

水温計 6-5
スピードメーター 6-3
スペアタイヤ 13-14

セ

制動灯 15-6
積算距離計(オドメーター) 6-3
セルフ式ガソリンスタンド 2-22
セレクターレバー 7-11
洗車 11-7
センターキャップ 13-20

タ

タイヤ
　空気圧 15-10
　空気圧の点検・調整 11-5
　スペアタイヤ(応急用) 13-14
　タイヤ交換 13-16

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

タイヤチェーン 12-5
タイヤの摩耗 11-5
タイヤメンテナンス 11-4
タイヤ, ホイールのサイズ 15-8
ダンプオイル 15-3
ダンプスイッチ 14-2

チ

チャイルドシート 5-8
駐車ブレーキ
駐車ブレーキ 7-2

テ

定期点検 M
ディファレンシャルオイル 15-3
テールゲート 4-4
点火プラグ 15-4
電球(バルブ) 15-6

ト

ドア 4-2
施錠・解錠 4-2, 4-3
ドアミラー 7-3
トランスファーオイル 15-3
トリップメーター(区間距離計) 6-3

ナ

内装品のお手入れ 11-6

ニ

荷台作業灯 8-4, 15-6
荷台(サイドゲート) 4-8
荷台(リヤゲート) 4-6
日常点検 M

ネ

燃料 15-2
燃料計 6-4
燃料残量警告灯 6-5
燃料噴射装置の洗浄 11-2
燃料補給
セルフ式ガソリンスタンド 2-22
燃料補給口(フューエルキャップ) 4-12

ハ

排気量 S
灰皿 8-2
ハイドロプレーニング現象 2-10
ハイマウントストップランプ 15-6
発炎筒 13-9
バッテリー 15-5
バッテリー上がり 13-20
バッテリー液量の点検・補給 M
パワーステアリングオイル 15-3
パンク(タイヤ交換) 13-16
番号灯 15-6

ヒ

ヒーター 9-4
非常点滅灯 15-6
非常点滅灯スイッチ 6-12
非常点滅表示灯 6-7
尾灯 15-6
ヒューズ 13-28
表示灯 6-6, 6-7
非常点滅表示灯 6-7
ヘッドライト上向き表示灯 6-7
方向指示表示灯 6-7
日よけ(サンバイザー) 8-2

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

フ

フェード現象 2-11
フューエルキャップ(燃料補給口) 4-12
ブレーキ
　アンチロックブレーキシステム（ABS） 7-23
　ブレーキ液 15-3
　ブレーキ液量の点検・補給 M
　ブレーキ警告灯 6-7
ブレーキ液タンク 11-3

ヘ

ベーパロック 2-11
ヘッドライト 15-6
ヘッドライト上向き表示灯 6-7
ヘッドライトレベリングダイヤル 6-11
ベルトのたわみ量 15-7

ホ

方向指示
　表示灯 6-7
　レバー 6-12
方向指示灯 15-6
ホーンスイッチ 6-14

マ

マニュアルウインドウ 4-10
マニュアルエアコン 9-4
マニュアルトランスミッション 7-9
　マニュアルトランスミッションオイル 15-3

ミ

ミラー
　サイドアンダーミラー 7-4
　ドアミラー 7-3
　ルームミラー 7-3

メ

メーター
　オドメーター(積算距離計) 6-3
　水温計 6-5
　スピードメーター 6-3
　トリップメーター(区間距離計) 6-3
　燃料計 6-4
メンテナンスデータ 15-2

ユ

油圧警告灯 6-8

ラ

ライトスイッチ 6-9
ランプ
　ルームランプ 8-4
　ワット数 15-6

リ

リヤゲート(荷台) 4-6

ル

ルームミラー 7-3
ルームランプ 15-6
ルームランプ(室内灯) 8-4

レ

冷却水 15-4
冷却水量の点検・補給 M

16

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ワ

ワイパー 6-13
ワイパースイッチ 6-13
ワックス 11-8
ワット数 15-6

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

MEMO

純正部品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正部品をご使用ください。
- 純正部品は，弊社の新車に使用されているものと同じ部品で，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正部品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正部品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

● 負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。